

令和5年度

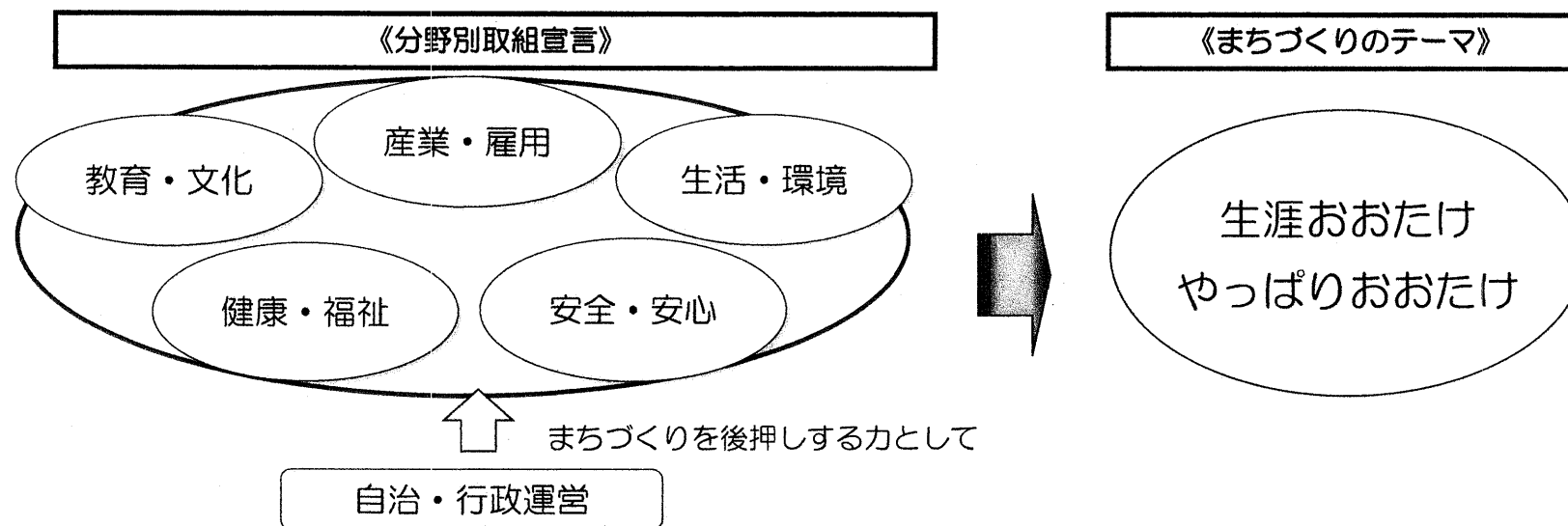
当初予算の概要

令和5年度 当初予算の基本的方向	1	当初予算主要事業	1 2
		1 教育・文化	1 4
I 会計別当初予算の編成状況	2	2 産業・雇用	1 7
		3 生活・環境	1 8
II 一般会計当初予算の概要	4	4 安全・安心	2 3
1 歳入の特徴	6	5 健康・福祉	2 5
2 歳出の特徴	8	6 自治・行政運営	3 1
【一般会計当初予算グラフ】	9	◎ 令和5年度当初予算における	
【資料編】	1 0	米空母艦載機部隊配備特別交付金充当事業	3 2
		◎ 令和5年度主要建設事業実施MAP	3 3
		◎ 各施設のご案内	3 4
		問い合わせ先一覧	3 7

大 竹 市

令和5年度当初予算の基本的方向

第1期大竹市まちづくり基本計画では、「生涯おおたけ やっぱりおおたけ」をまちづくりのテーマとして設定しています。未来にあふれる「8つの幸せ」の実現に向けた施策を展開していきます。



第2期大竹市まち・ひと・しごと創生総合戦略では、本市のまち・ひと・しごと創生に関する計画として、第1期基本計画と一体的に策定・推進するため、3つの基本目標を設定しています。



1. 誰もが健康で生きがいをもち、安心して暮らせる魅力的な地域を実現する
2. 結婚・出産・子育ての希望をかなえる
3. 地域経済を活性化し、安心して働ける魅力的な雇用の場を創出する

予算編成にあたっては、まちづくり基本構想に掲げる未来にあふれる「8つの幸せ」の実現に向けて、地方創生事業を推進するため、第2期大竹市まち・ひと・しごと創生総合戦略に掲げる事業を盛り込んでいます。

I 会計別当初予算の編成状況

一般会計の予算規模は、159億418万2千円で、前年度に比べ4.8%の増となりました。継続して進めている「大竹駅周辺整備事業」や「大竹小学校プール建設事業」などの普通建設事業費の増が主な要因です。

7つの特別会計の合計は、68億8,251万1千円です。介護保険特別会計の保険給付費の増などにより、全体で前年度に比べ1.2%の増となりました。

一般会計と特別会計の合計は、227億8,669万3千円で、前年度に比べ3.7%の増となっています。

3つの企業会計の支出の合計は、40億3,530万4千円です。公共下水道事業会計の施設建設事業費の減などにより、前年度に比べ12.1%の減となっています。

一般会計、特別会計及び企業会計の合計は268億2,199万7千円で、前年度に比べ0.9%の増となっています。

◎◎◎ 会計別予算 ◎◎◎

単位:千円、%

	5年度	4年度	対前年度比	
			増減額	増減率
一般会計	15,904,182	15,176,832	727,350	4.8
特別会計	6,882,511	6,803,670	78,841	1.2
1 国民健康保険特別会計	2,947,558	3,130,019	▲ 182,461	▲ 5.8
2 漁業集落排水特別会計	84,739	40,954	43,785	106.9
3 農業集落排水特別会計	53,714	50,068	3,646	7.3
4 港湾施設管理受託特別会計	72,568	60,974	11,594	19.0
5 土地造成特別会計	288,404	287,868	536	0.2
6 介護保険特別会計	2,881,307	2,708,640	172,667	6.4
7 後期高齢者医療特別会計	554,221	525,147	29,074	5.5
合計	22,786,693	21,980,502	806,191	3.7

《企業会計》

単位:千円、%

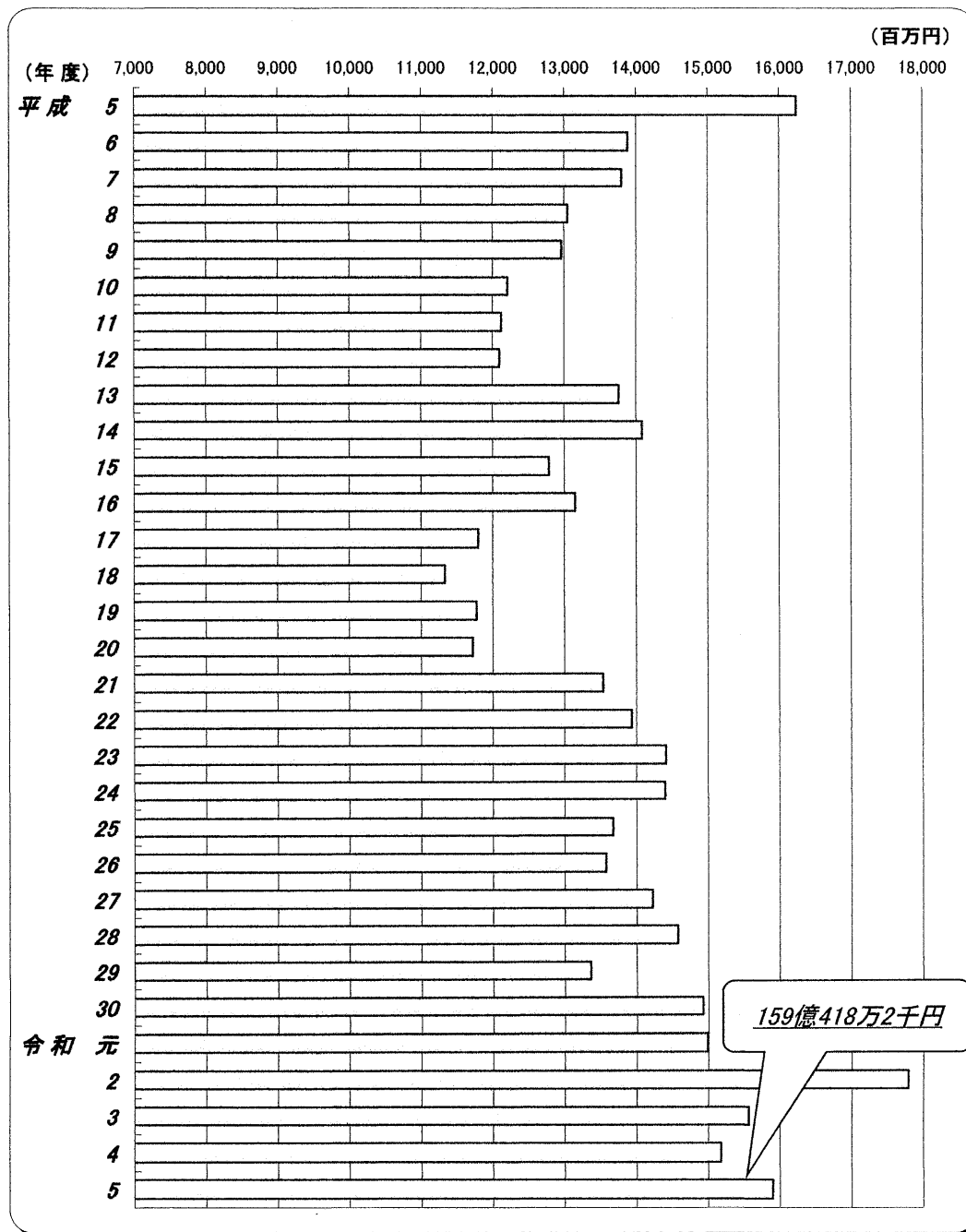
		5年度	4年度	対前年度比	
				増減額	増減率
水道事業会計					
収益的	収入	581,987	568,851	13,136	2.3
	支出	579,287	557,026	22,261	4.0
資本的	収入	195,132	241,172	▲ 46,040	▲ 19.1
	支出	370,817	750,318	▲ 379,501	▲ 50.6
工業用水道事業会計					
収益的	収入	551,636	550,941	695	0.1
	支出	467,041	441,665	25,376	5.7
資本的	収入	64,701	64,701	0	0.0
	支出	419,421	414,656	4,765	1.1
公共下水道事業会計					
収益的	収入	1,093,394	1,063,570	29,824	2.8
	支出	960,963	937,720	23,243	2.5
資本的	収入	1,058,083	1,275,729	▲ 217,646	▲ 17.1
	支出	1,237,775	1,491,086	▲ 253,311	▲ 17.0

【一般会計当初予算の推移】

単位：千円、%

年度	当初予算規模	対前年度伸び率	《参考》最終予算額
平成 5	16,241,853	15.5	17,242,949
6	13,889,956	▲ 14.5	13,870,385
7	13,803,861	▲ 0.6	14,581,664
8	13,048,192	▲ 5.5	14,050,875
9	12,965,635	▲ 0.6	13,223,610
10	12,211,020	▲ 5.8	14,427,535
11	12,121,383	▲ 0.7	14,456,844
12	12,102,194	▲ 0.2	12,324,258
13	13,761,143	13.7	15,373,572
14	14,087,867	2.4	14,265,959
15	12,786,158	▲ 9.2	12,032,324
16	13,148,777	2.8	13,364,554
17	11,803,360	▲ 10.2	12,440,260
18	11,338,627	▲ 3.9	11,692,281
19	11,770,193	3.8	12,269,904
20	11,716,260	▲ 0.5	12,798,330
21	13,541,552	15.6	15,270,309
22	13,939,452	2.9	14,545,921
23	14,417,001	3.4	14,995,090
24	14,400,188	▲ 0.1	14,999,838
25	13,669,310	▲ 5.1	14,068,289
26	13,572,848	▲ 0.7	14,008,526
27	14,224,130	4.8	15,106,127
28	14,572,914	2.5	15,776,748
29	13,357,606	▲ 8.3	14,399,043
30	14,924,608	11.7	15,770,518
令和 元	14,992,188	0.5	16,039,589
2	17,793,652	18.7	22,339,780
3	15,563,577	▲ 12.5	18,402,332
4	15,176,832	▲ 2.5	※ 16,955,279
5	15,904,182	4.8	—

※ 補正第9号までの予算額を計上



II 一般会計当初予算の概要

令和5年度は、将来のまちの発展に資する継続事業にしっかり取り組むとともに、新たな子育て支援施策を含む、市の魅力を一層高めるための事業、市民の安全に関わる緊急度の高い事業に重点的に取り組みます。

〔将来のまちの発展に資する継続事業〕

○「大竹駅周辺整備事業」では、広島県の西の玄関口にふさわしい、活力と魅力ある市街地をつくるため、駅の橋上化、線路を隔てて分断されていた東西地区を結ぶ自由通路の整備、東西広場の改良・整備を一体的に進めています。令和5年度は、旧駅舎・跨線橋等の解体工事を行うとともに、東口交通広場整備工事、西口駅前広場整備工事や広場に隣接する市道の道路拡幅・無電柱化工事を行います。

○「小方地区まちづくり関連事業」では、JR小方新駅の設置に道筋をつけるため、新駅の設置検討に必要となる測量を進めていきます。また、その周辺のにぎわいの創出のため、小方小・中学校跡地の活用検討や、新たに国道2号交差点新設を検討するほか、晴海臨海公園の改良整備に取り組むなど、小方地区のまちづくり基本構想に沿ったまちづくりを推進します。

○「大竹小学校プール建設事業」では、大竹小学校の児童と大竹中学校の生徒が共同で利用できる新たなプール施設を整備します。令和5年度は、令和4年度に引き続きプールの建設工事を行います。

〔市の魅力を一層高めるための事業〕

○新たな子育て支援事業「学校給食費支援事業」では、市立学校に在籍する児童・生徒の保護者が負担する学校給食費を全額免除することで、保護者の経済的負担を軽減します。

○「子ども医療費助成事業」では、これまで中学校卒業までの子どもを対象として、医療費に係る自己負担額の一部を助成していましたが、令和5年10月から、対象を18歳までに拡充し、安心して子育てができる環境づくりを推進します。

○「玖波地域交流施設整備事業」では、築50年を迎える玖波公民館を周辺の公共施設の機能を統合した施設として新たに整備するため、整備方針等を定める基本構想・基本計画の策定を行います。

〔市民の安全に関わる緊急度の高い事業〕

○「水槽付消防ポンプ自動車整備事業」では、消防力強化のため、消防機能が向上する車両を整備します。

○「浸水対策事業」では、大雨による浸水被害が発生している地区の排水対策を検討し、今後の浸水被害の軽減につなげていきます。

これらの事業を盛り込んだ予算規模は、159億418万2千円です。大竹駅周辺整備事業や大竹小学校プール建設事業などの投資的経費の増加により、前年度比4.8%の増となっています。

◎◎◎ 歳入予算(一般会計) ◎◎◎

単位：千円、%

	5年度		4年度	対前年度比	
		構成比		増減額	増減率
1 市 税	5,183,451	32.6	5,132,035	51,416	1.0
2 地 方 譲 与 税	76,215	0.5	76,881	▲ 666	▲ 0.9
3 利 子 割 交 付 金	1,666	0.0	3,853	▲ 2,187	▲ 56.8
4 配 当 割 交 付 金	24,608	0.1	15,192	9,416	62.0
5 株式等譲渡所得割交付金	14,714	0.1	20,496	▲ 5,782	▲ 28.2
6 法 人 事 業 税 交 付 金	75,753	0.5	60,716	15,037	24.8
7 地 方 消 費 税 交 付 金	686,734	4.3	611,757	74,977	12.3
8 環 境 性 能 割 交 付 金	10,506	0.1	11,485	▲ 979	▲ 8.5
9 地 方 特 例 交 付 金	34,800	0.2	33,882	918	2.7
10 地 方 交 付 税	2,003,381	12.6	1,896,224	107,157	5.7
11 交通安全対策特別交付金	2,640	0.0	3,131	▲ 491	▲ 15.7
12 分 担 金 及 び 負 担 金	134,410	0.8	139,495	▲ 5,085	▲ 3.6
13 使 用 料 及 び 手 数 料	295,832	1.9	292,361	3,471	1.2
14 国 庫 支 出 金	2,401,789	15.1	2,333,567	68,222	2.9
15 県 支 出 金	847,463	5.3	857,848	▲ 10,385	▲ 1.2
16 財 産 収 入	26,638	0.2	103,270	▲ 76,632	▲ 74.2
17 寄 附 金	600,003	3.8	605,004	▲ 5,001	▲ 0.8
18 繰 入 金	1,382,539	8.7	1,105,475	277,064	25.1
19 繰 越 金	1	0.0	1	0	0.0
20 諸 収 入	793,739	5.0	619,059	174,680	28.2
21 市 債	1,307,300	8.2	1,255,100	52,200	4.2
合 計	15,904,182	100.0	15,176,832	727,350	4.8

◎◎◎ 歳出予算(一般会計)(目的別内訳) ◎◎◎

単位:千円、%

	5年度	構成比	4年度	対前年度比	
				増減額	増減率
1 議会費	184,339	1.2	184,552	▲ 213	▲ 0.1
2 総務費	2,127,579	13.4	2,393,098	▲ 265,519	▲ 11.1
3 民生費	4,602,658	28.9	4,606,784	▲ 4,126	▲ 0.1
4 衛生費	1,044,028	6.6	1,110,076	▲ 66,048	▲ 5.9
5 労働費	120,050	0.7	120,080	▲ 30	▲ 0.0
6 農林水産業費	445,733	2.8	245,713	200,020	81.4
7 商工費	244,388	1.5	234,172	10,216	4.4
8 土木費	2,988,773	18.8	2,623,845	364,928	13.9
9 消防費	603,650	3.8	495,027	108,623	21.9
10 教育費	1,739,278	10.9	1,264,717	474,561	37.5
11 災害復旧費	10,004	0.1	17,004	▲ 7,000	▲ 41.2
12 公債費	1,773,702	11.2	1,861,764	▲ 88,062	▲ 4.7
13 予備費	20,000	0.1	20,000	0	0.0
合計	15,904,182	100.0	15,176,832	727,350	4.8

▼▲▼ 歳出の性質別分析(一般会計)▼▲▼

単位:千円、%

	5年度	構成比	4年度	対前年度比	
				増減額	増減率
人件費	2,734,628	17.2	2,665,147	69,481	2.6
扶助費	2,504,633	15.8	2,533,972	▲ 29,339	▲ 1.2
公債費	1,773,702	11.2	1,861,764	▲ 88,062	▲ 4.7
義務的経費計	7,012,963	44.2	7,060,883	▲ 47,920	▲ 0.7
普通建設事業費	2,747,004	17.2	2,256,598	490,406	21.7
うち補助事業	1,310,937	8.2	1,265,430	45,507	3.6
うち単独事業	1,436,067	9.0	991,168	444,899	44.9
災害復旧事業費	10,004	0.1	17,004	▲ 7,000	▲ 41.2
投資的経費計	2,757,008	17.3	2,273,602	483,406	21.3
物件費	2,372,661	14.9	2,151,874	220,787	10.3
維持補修費	143,351	0.9	145,147	▲ 1,796	▲ 1.2
補助費等	1,023,713	6.4	983,456	40,257	4.1
繰出金	1,555,209	9.8	1,483,205	72,004	4.9
出資金・貸付金	346,461	2.2	345,669	792	0.2
積立金	672,816	4.2	712,996	▲ 40,180	▲ 5.6
予備費	20,000	0.1	20,000	0	0.0
その他の経費計	6,134,211	38.5	5,842,347	291,864	5.0
合計	15,904,182	100.0	15,176,832	727,350	4.8

1 歳入の特徴

【市 税】 対前年度 51.4百万円増(+1.0%)

単位:百万円、%

◎ 市税は、市たばこ税、都市計画税の減はあるものの、個人市民税、固定資産税の増により、全体では前年度比1.0%(51.4百万円)の増となる見込みです。

◎ 個人市民税は、納税義務者数の減の影響はあるものの、景気の緩やかな持ち直しによる所得の増加により、前年度比1.8%(22.2百万円)の増となる見込みです。

	5年度	4年度	増減率
市民税(個人)	1,287.9	1,265.7	1.8
(法人)	274.0	266.6	2.8
固定資産税	3,202.9	3,172.8	0.9
軽自動車税	74.3	73.6	1.0
市たばこ税	195.7	202.8	▲ 3.5
都市計画税	148.6	150.5	▲ 1.3
市税合計	5,183.4	5,132.0	1.0

※資料編(P10)に市税収入の推移のグラフあり

◎ 固定資産税は、家屋の新築や償却資産の設備投資により、前年度比0.9%(30.1百万円)の増となる見込みです。

【地方交付税・臨時財政対策債】 対前年度 75.9百万円減(▲4.3%)

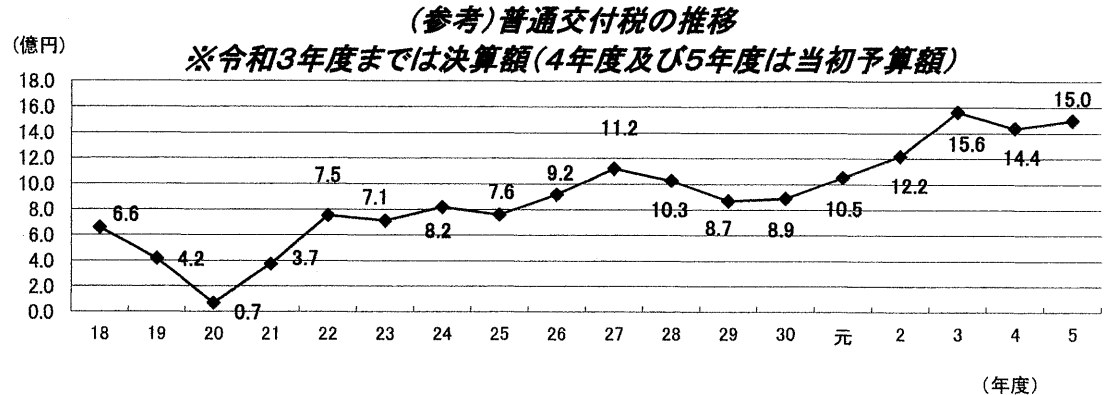
単位:百万円、%

◎ 国の示した令和5年度の地方財政計画では、地方交付税は前年度比1.7%の増となり、臨時財政対策債は、前年度比44.1%の減となっています。

◎ 大竹市の普通交付税と臨時財政対策債の合計は、市税や地方消費税交付金の増により、前年度比4.3%(75.9百万円)の減を見込んでいます。

	5年度	4年度	増減率
地方交付税	2,003.4	1,896.2	5.7
うち普通交付税	1,499.9	1,439.6	4.2
臨時財政対策債	192.1	328.3	▲ 41.5
合計	1,692.0	1,767.9	▲ 4.3

※合計は、普通交付税と臨時財政対策債の合計



【市 債】 対前年度 52.2百万円増(+4.2%)

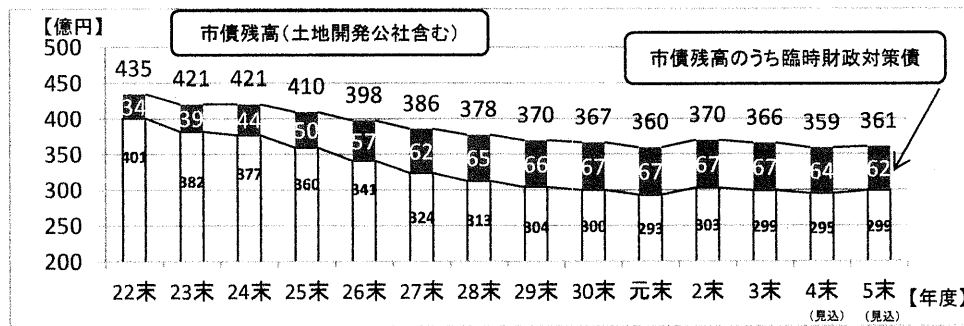
単位:百万円、%

◎ 臨時財政対策債の減はあるものの、大竹駅周辺整備事業債や港湾改良事業債の増などにより、前年度比4.2%の増となりました。

なお、土地開発公社を含めた市債残高の合計は、令和5年度末で361億円となる見込みです。

	5年度	4年度	増減率
通常債(建設債)	1,115.2	926.8	20.3
臨時財政対策債	192.1	328.3	▲ 41.5
市債合計	1,307.3	1,255.1	4.2

※資料編(P11)に市債発行額(普通会計)、市債残高(普通会計)の推移のグラフあり



【基金繰入金】 対前年度 265.6百万円増(+24.2%)

単位:百万円、%

◎ 「市の純粋な貯蓄」といべき財政調整基金と減債基金の残高合計は、令和3年度末で約1,539.2百万円です。令和5年度当初予算では、合計で356.8百万円の取り崩しを見込んでいます。

	5年度	4年度	増減率
財政調整基金	200.0	200.0	0.0
減債基金	156.8	198.9	▲ 21.2
その他の基金	1,004.8	697.1	44.1
基金繰入金合計	1,361.6	1,096.0	24.2

※資料編(P10)に財政調整基金残高の推移のグラフあり

◎ 再編交付金及び米空母艦載機部隊配備特別交付金をもとに積み立てた各種基金(阿多田診療所基金、にこにこ子ども基金、健やか安心基金、教育環境充実基金、公共交通活性化基金、あたたかあたた基金)からの繰入金は、539.3百万円(前年度比103.4%増)を予定しています。

【その他の主な歳入の増減】

国庫支出金 [増の要因] ・社会資本整備総合交付金の増(+137百万円)
 ・水産物供給基盤機能保全事業補助金の増(+85百万円)
 ・防衛施設周辺民生安定施設整備事業補助金の皆増(+19百万円)
 ・障害児給付費国庫負担金の増(+16百万円)
 68.2百万円増 (+2.9%)
 [減の要因] ・離島航路構造改革国庫補助金の皆減(▲98百万円)
 ・道路メンテナンス事業国庫補助金の減(▲54百万円)
 ・無電柱化推進計画事業国庫補助金の減(▲30百万円)

県支出金 [増の要因] ・障害児給付費県負担金の増(+8百万円)
 ・新規就農者育成交付金事業県補助金の増(+8百万円)
 ・広島県議会議員選挙費県負担金の増(+4百万円)
 10.4百万円減 (▲1.2%)
 [減の要因] ・衆議院議員選挙費県負担金の皆減(▲20百万円)
 ・地域医療介護総合確保事業補助金の減(▲20百万円)
 ・施設型給付費等県負担金の減(▲9百万円)
 ・医療施設等設備整備費補助金の皆減(▲4百万円)

諸収入 [増の要因] ・ボートレース事業収入の増(+161百万円)
 ・小中学校教職員等給食費本人負担金の皆増(+10百万円)
 174.7百万円増 (+28.2%)
 [減の要因] ・上市児童公園施設移転補償費の減(▲6百万円)
 ・二酸化炭素排出抑制対策事業費等補助金の皆減(▲5百万円)

市債 [増の要因] ・大竹駅周辺整備事業債の増(+115百万円)
 ・港湾改修事業債の増(+77百万円)
 ・市道改良事業債の増(+65百万円)
 ・水槽付消防ポンプ自動車整備事業債の皆増(+62百万円)
 52.2百万円増 (+4.2%)
 [減の要因] ・船舶建造事業債の皆減(▲273百万円)
 ・臨時財政対策債の減(▲136百万円)

2 歳出の特徴

《性質別分析》

【義務的経費】 対前年度 48.0百万円減(▲0.7%)

単位:百万円、%

- ◎ 扶助費は、施設型給付費の減などにより、前年度と比べ1.2%(29.4百万円)の減となっています。

- ◎ 公債費は、平成24年度に発行した「給食センター建設事業債」の償還完了などにより、前年度比4.7%(88.1百万円)の減となっています。

	5年度	4年度	増減率
人件費	2,734.6	2,665.1	2.6
扶助費	2,504.6	2,534.0	▲ 1.2
公債費	1,773.7	1,861.8	▲ 4.7
義務的経費計	7,012.9	7,060.9	▲ 0.7

※資料編(P10, 11)に人件費及び公債費の推移のグラフあり

【投資的経費】 対前年度 483.4百万円減(+21.3%)

単位:百万円、%

- ◎ 投資的経費は、船舶建造事業の完了による減はあるものの、大竹駅周辺整備事業費や大竹小学校プール建設事業費の増などにより、前年度比21.3%(483.4百万円)の増となっています。

	5年度	4年度	増減率
普通建設事業費	2,747.0	2,256.6	21.7
うち補助事業	1,310.9	1,265.4	3.6
うち単独事業	1,436.1	991.2	44.9
災害復旧事業費	10.0	17.0	▲ 41.2
投資的経費 計	2,757.0	2,273.6	21.3

※資料編(P11)に投資的経費の推移のグラフあり

- ◎ 投資的経費の財源については、後年度の負担が過度に増加しないよう、これまで積み立ててきた地方創生事業基金を繰り入れ、市債の発行を抑制しています。



《目的別内訳》

議会費 [減の要因] ・市議会本会議等の公開事業費の減
(▲0.3百万円)

0.2百万円減
(▲0.1%)

総務費 [減の要因] ・地域公共交通整備事業費の減(▲340百万円)

265.5百万円減
(▲11.1%)

民生費 [増の要因] ・障害児通所給付事業費の増(+31百万円)
・介護保険特別会計繰出金の増(+28百万円)

4.1百万円減
(▲0.1%)

[減の要因] ・にこにこ子ども基金積立金の減(▲69百万円)
・施設型給付事業費の減(▲35百万円)

衛生費 [増の要因] ・斎場管理事業費の増(+18百万円)

66.0百万円減 [減の要因] ・健やか安心基金積立金の減(▲54百万円)
(▲5.9%)
・し尿処理場整備事業費の減(▲41百万円)

労働費

3万円減
(±0.0%)

農林水産業費 [増の要因] ・漁港施設維持管理事業費の増(+156百万円)
・水産業振興事業費の増(+21百万円)

200.0百万円増
(+81.4%)

商工費 [増の要因] ・産業振興奨励金の増(+9百万円)

10.2百万円増
(+4.4%)

土木費 [増の要因] ・大竹駅周辺整備事業費の増(+152百万円)
・港湾施設の修築・改良事業費の増

364.9百万円増
(+13.9%)

(+88百万円)
・道路・橋りょう維持事業費の増(+71百万円)

[減の要因] ・市営住宅長寿命化事業費の減(▲85百万円)
・橋りょう長寿命化事業費の減(▲29百万円)

消防費 [増の要因] ・消防力強化事業費の増(+82百万円)

108.6百万円増
(+21.9%)

・消防団資機材整備事業費の増(+10百万円)

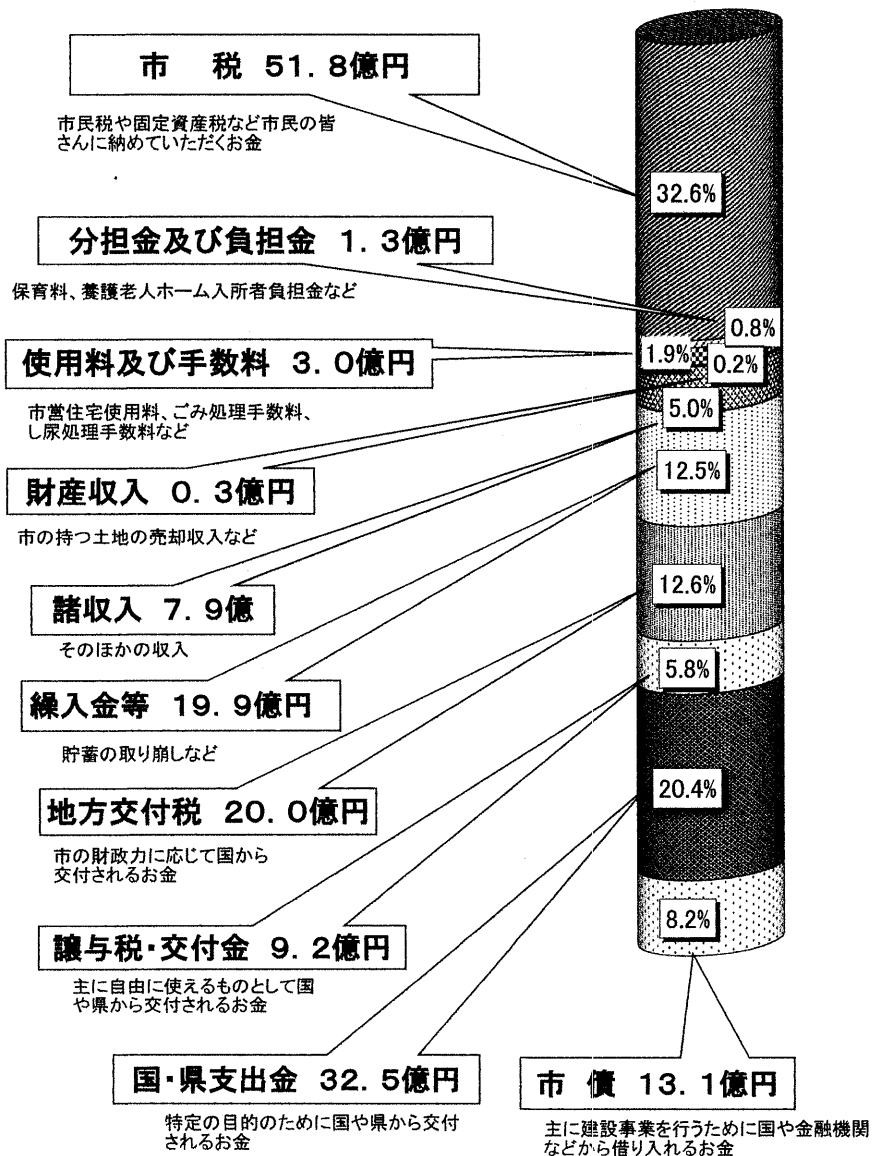
教育費 [増の要因] ・大竹小学校プール整備事業費の増

474.6百万円増
(+37.5%)

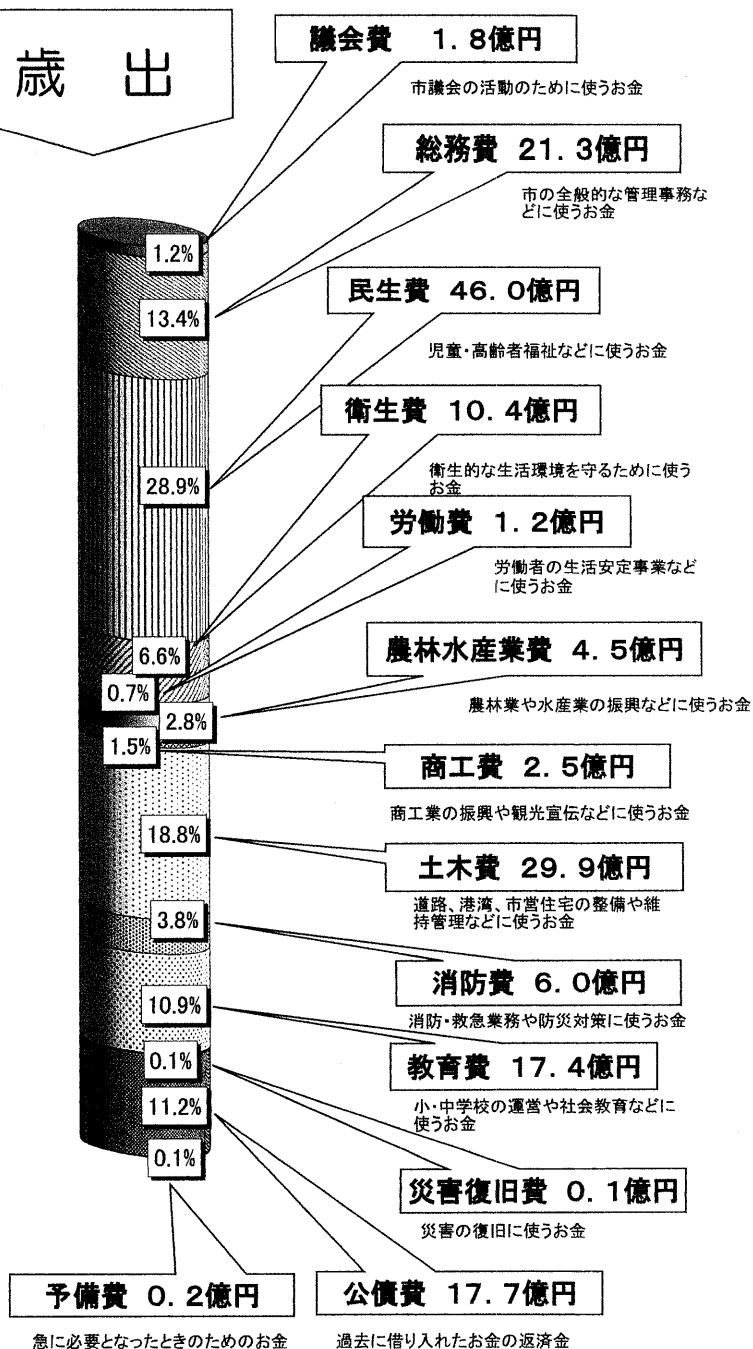
(+251百万円(教育環境充実基金積立金の増も含む))
・給食センター運営事業費の増(+114百万円)
・学校給食費支援事業費の皆増
(+54百万円(にこにこ子ども基金積立金の増も含む))

一般会計当初予算 総額 159.0億円

歳入

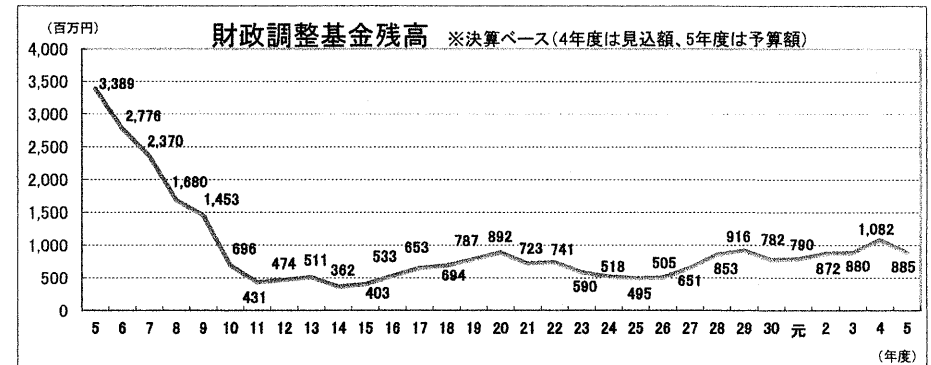
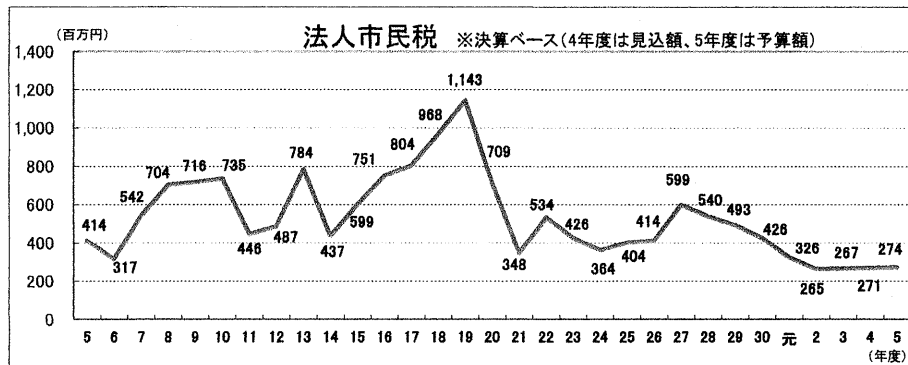
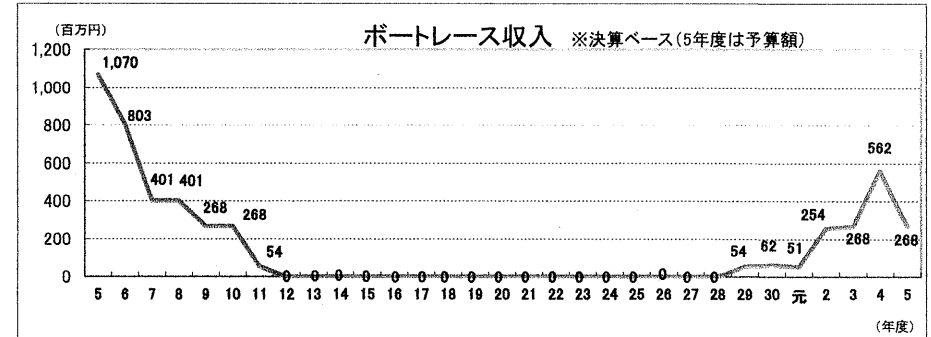
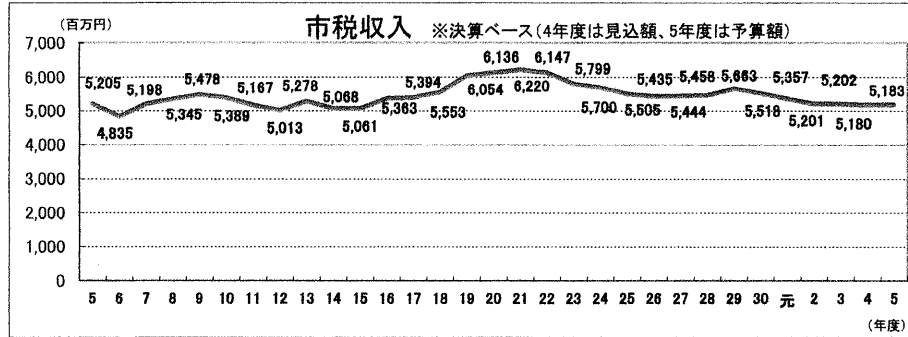


歳出

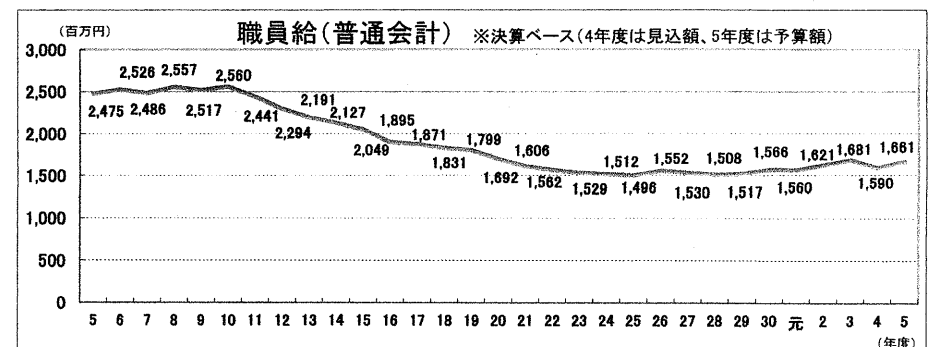
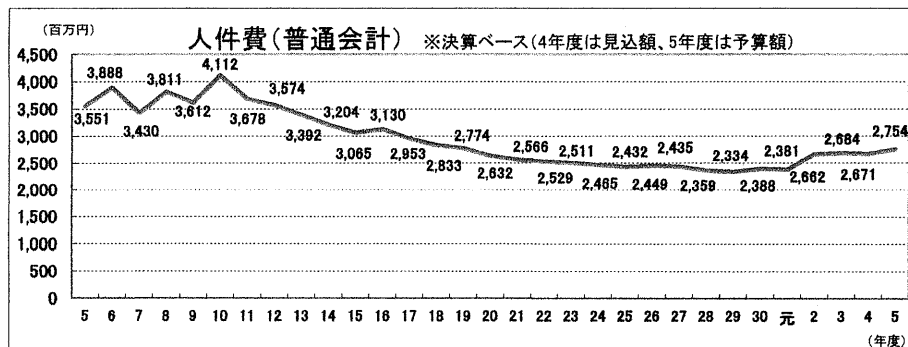


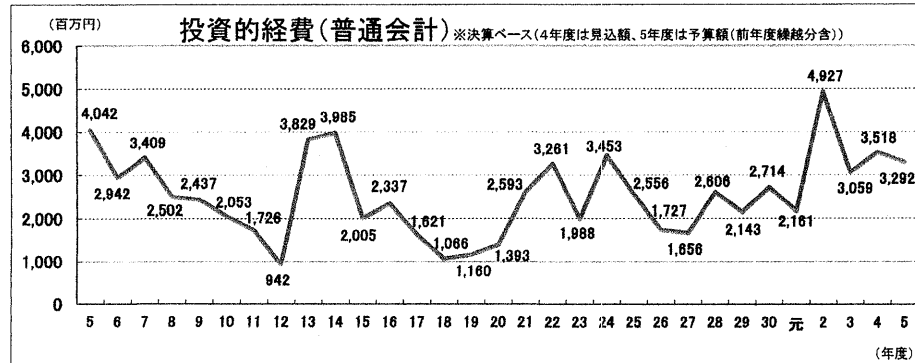
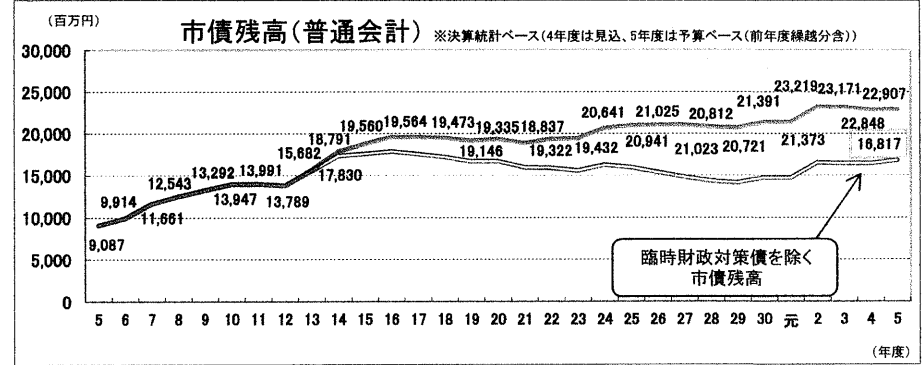
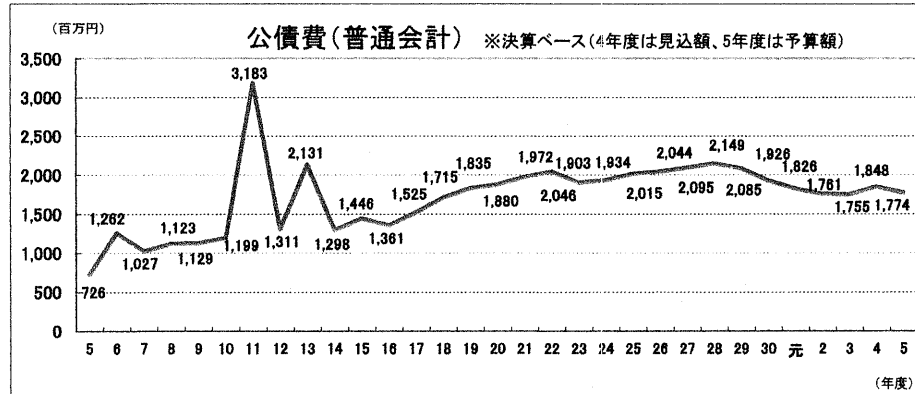
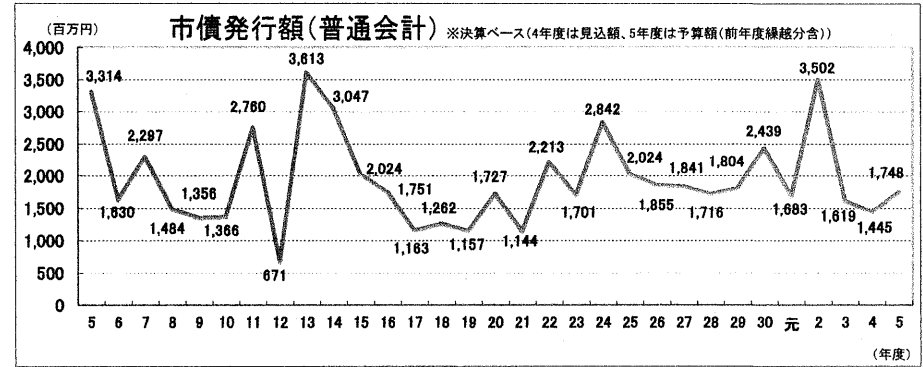
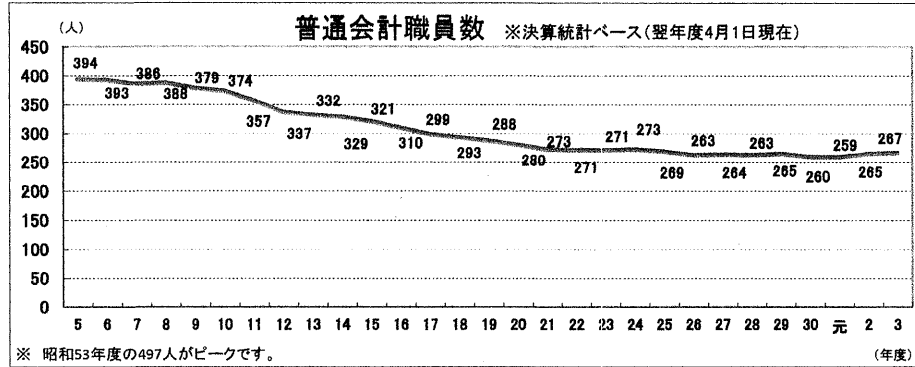
当初予算の概要 資料編(平成5年度～)

1. 歳入に関する事項

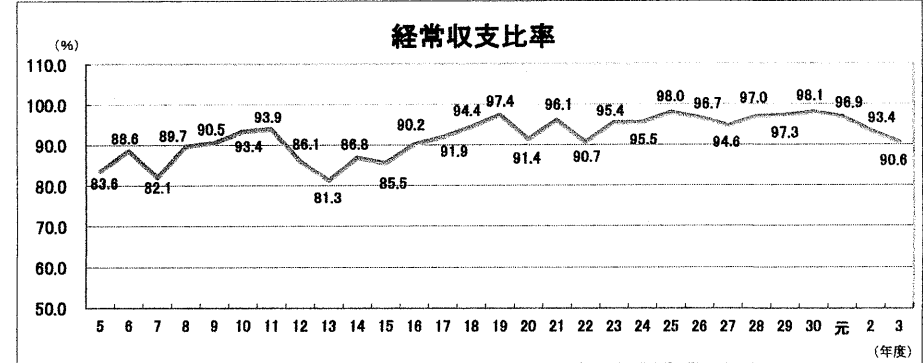


2. 歳出に関する事項





3. 財務指数に関する事項



当初予算主要事業

事業名に 新規 … 令和5年度に新規に行う事業です。
 事業名に 拡充 … 制度などが前年度と比較し拡充される事業です。

1 教育・文化 554,408 千円

1 子どもの学びと成長を支える教育の充実

新規	中学校管理運営事業（玖波中学校施設環境改善事業）	14,500 千円
新規	学校給食費支援事業	95,434 千円
拡充	奨学金貸付事業	11,369 千円
	こども相談室運営事業	8,419 千円
	小学校管理運営事業 （大竹小学校プール建設事業）	305,000 千円
	小・中学校教育振興事業（ICT支援員配置事業）	10,560 千円
	小・中学校教育支援事業 （オンライン学習通信費援助事業）	3,390 千円
	小・中学校学習環境サポート・読書活動推進事業	19,104 千円
	中学校教育振興事業（英語力向上事業）	721 千円
	学校連携・子どもの居場所づくり事業 （放課後児童クラブ運営事業）	67,102 千円
	学校連携・子どもの居場所づくり事業 （放課後子ども教室事業）	3,000 千円

2 生きがいと創造性を育む生涯学習・社会教育の推進

新規	玖波地域交流施設整備事業	13,109 千円
	栄公民館管理事業（大ホール床改修事業）	1,600 千円

3 まちへの愛着と誇りを育む歴史・文化の保存・継承の推進

拡充	文化財保護事業	1,100 千円
----	---------	----------

2 産業・雇用 44,527 千円

1 自然の恵みを生かした農林水産業の振興

新規	水産業振興事業（阿多田かき殻一時堆積場修築事業）	22,000 千円
----	--------------------------	-----------

2 地域経済の元気と成長を支える商工業の振興

	商工振興事業（産業振興奨励事業）	11,520 千円
	中小企業経営安定支援事業 （地域経済活性化補助事業）	8,500 千円

3 暮らしの基盤となる雇用促進と労働者・消費者支援

	消費生活相談事業	2,507 千円
--	----------	----------

3 生活・環境 2,354,259 千円

新規	小方地区まちづくり関連事業	303,817 千円
----	---------------	------------

1 快適で魅力的な都市空間の創造

新規	大竹駅周辺整備事業（駐輪場等検討業務）	5,000 千円
拡充	地籍再調査事業	4,189 千円
	大竹駅周辺整備事業	887,661 千円
	駅前油見線道路改築事業	7,500 千円

2 きれいで利便性の高い道路環境の創造

	橋りょう長寿命化事業	99,000 千円
	道路・橋りょう維持事業	73,000 千円
	道路・橋りょう新設、改良事業	21,500 千円
	県道等整備事業	5,100 千円
	岩国大竹道路建設事業	- 千円

3 生活を支える公共交通の充実

	地域公共交通整備事業	111,766 千円
--	------------	------------

4 まちの産業と物流を支える港湾・漁港の整備

	漁港施設維持管理事業	178,300 千円
	港湾施設の修築・改良事業	97,500 千円

5 住みよさと安心を生む住宅政策

拡充	住宅改修等補助事業	11,184	千円
	空家対策事業	481	千円

6 楽しさと憩いを提供する公園・緑地の整備

	穂仁原水辺の広場整備事業	16,000	千円
--	--------------	--------	----

7 暮らしを支える上下水道の整備

【公共下水道事業会計】

	大竹下水処理場共同処理整備事業 (し尿等受入施設整備)	410,000	千円
	大竹下水処理場改築更新事業	52,000	千円

8 環境にやさしい持続可能なまちづくり

	地域不法投棄対策事業	11,536	千円
	環境衛生推進事業	5,656	千円
	ごみ減量化・資源化促進事業	6,510	千円
	環境学習事業	2,430	千円
	ひろしまの森づくり事業	7,341	千円

9 生活環境に配慮した墓地・斎場の管理

	斎場管理事業	36,788	千円
--	--------	--------	----

4 安全・安心

539,273 千円

1 自然災害やさまざまな危機に強いまちづくり

新規	河川・水路改良保全事業(阿多田中の川河川改修)	30,000	千円
新規	浸水対策事業(木野地区・立戸地区)	8,500	千円
新規	防災・保安体制整備事業(個別避難計画作成事業)	357	千円
	河川・水路改良保全事業 (一般河川(水路)浚渫事業)	92,000	千円
	急傾斜地崩壊対策事業(市)	50,859	千円
	急傾斜地崩壊対策事業(県)	2,500	千円
	大規模盛土造成地安全対策事業	21,000	千円
	自主防災組織育成指導事業	889	千円
	小方ポンプ場機械電気設備改築更新事業	235,770	千円

2 市民の命を守る消防体制の充実

新規	消防力強化事業(水槽付消防ポンプ自動車整備事業)	82,306	千円
新規	消防団活動推進事業・消防団資機材整備事業 (消防団活動服・積載車整備事業)	15,092	千円

5 健康・福祉

1,259,469 千円

1 生きがいに満ちた高齢者の暮らしの支援

新規	介護施設整備等補助事業	21,600	千円
	高齢者離島対策事業(介護サービス利用支援事業)	488	千円

2 子どもと子育てを支える体制の充実

新規	つながりの場づくり緊急支援事業	4,500	千円
新規	出産・子育て応援事業	18,133	千円
拡充	こども医療費助成事業	64,871	千円
拡充	児童福祉相談事業	11,408	千円
	子育て短期支援事業	189	千円
	未就学児等離島対策事業	162	千円
	市立保育所等整備事業(大竹・本町統合)	-	千円
	病児・病後児保育運営委託事業	12,178	千円
	子育て支援センター等運営管理事業	24,685	千円
	利用者支援事業(ネウボラ)	18,356	千円

3 障害のある人が自分らしく生きるための支援

	障害者等自立支援給付事業	595,241	千円
--	--------------	---------	----

4 見守り支え合う地域福祉の推進

新規	総合福祉センター運営事業 (多目的ホール天井改修事業)	14,000	千円
	生活困窮者自立支援事業	19,014	千円
	地域福祉担い手育成事業	17,115	千円
	地域支援事業	184,559	千円

5 元氣・健康・安心をつくる保健・医療体制の充実

	医療体制支援事業	1,007	千円
	予防接種推進事業	89,376	千円
	妊産婦等支援事業	25,215	千円
	健康づくり推進事業	137,372	千円

6 自治・行政運営 47,577 千円

1 市民と行政の協働による地域づくり

協働のまちづくり推進事業 1,000 千円
 地域活動促進事業 19,486 千円

2 将来を見据えた計画的で効率的な行財政運営

拡充 DX推進事業 16,526 千円

3 公営企業などの健全な経営

土地開発公社経営健全化対策事業 10,565 千円



人口減少の克服と地方創生を実現するため、大竹市まち・ひと・しごと創生総合戦略で設定している、3つの基本目標を達成するための事業には、左の、おおたけPRキャラクター「コイちゃん」が付いています。

まち 誰もが健康で生きがいをもち、安心して暮らせる魅力的な地域を実現する
 ひと 結婚・出産・子育ての希望をかなえる
 しごと 地域経済を活性化し、安心して働ける魅力的な雇用の場を創出する

1 教育・文化

1 子どもの学びと成長を支える教育の充実

新規 中学校管理運営事業

(玖波中学校施設環境改善事業)

14,500 千円 予算書 178 ページ (担当 総務学事課)

玖波中学校の教育環境を改善するため、生徒用トイレ改修工事、段差解消工事、屋内運動場照明改修工事を行います。

※ 33 ページの「令和5年度主要建設事業実施MAP」をご覧ください

新規 学校給食費支援事業

95,434 千円 予算書 197 ページ (担当 総務学事課)

大竹市立学校に在籍する児童・生徒の保護者が負担する学校給食費を全額免除することで、保護者の経済的負担を軽減し、子育て支援を推進します。

拡充 奨学金貸付事業



11,369 千円 予算書 171 ページ (担当 総務学事課)

経済的な理由により修学の機会がなくなることを防ぐよう、学資の貸付を行います。なお、認定基準の一部を見直し、令和5年度の貸付分から適用します。

また、平成24年度から、市内に一定期間居住することを要件とした奨学金の返還免除制度を導入しています。

＜認定基準見直しの内容＞

中学校又は高等学校の「3年間の成績が一定以上」としている学業成績の要件について、「3年次の成績が一定以上」の場合にも対象を広げます。

こども相談室運営事業

8,419 千円 予算書 172~173 ページ (担当 総務学事課)

家庭等で問題を抱えながら生活をしている子ども・保護者等に対し、幼児期から青年期まで一貫した相談を実施できる場所を提供するとともに、不登校の児童・生徒に対し、学習・生活面での支援を行い、社会的自立への基礎を培います。

※ 34 ページの「各施設のご案内」をご覧ください

小学校管理運営事業(大竹小学校プール建設事業)



305,000 千円 予算書 174~175 ページ (担当 総務学事課)

大竹小学校の児童と大竹中学校の生徒が共同で使用できる新たなプールを大竹小学校に整備します。

令和4年度は、両校のプールの解体工事を行い、新たなプールの建設に着手しました。

令和5年度は、引き続き建設工事を行います。

※ 33 ページの「令和5年度主要建設事業実施MAP」をご覧ください

小・中学校教育振興事業 (ICT支援員配置事業)



10,560 千円 予算書 175、178 ページ (担当 総務学事課)

児童・生徒の情報活用能力を高め、多様な問題を解決できる能力の育成を目指すため、1人1台端末を授業等で活用しています。そのために必要となる教員のICT機器活用力の向上、機器の不具合への対応、情報セキュリティ対策の強化等のため、専門的な知識をもつICT支援員を配置します。

小・中学校教育支援事業 (オンライン学習通信費援助事業)



3,390 千円 予算書 176、179 ページ (担当 総務学事課)

学習用端末を持ち帰り、家庭においても活用するために、通信環境未整備の世帯にモバイルWi-Fiルータの貸出を行う(契約及び通信料は保護者負担)とともに、就学援助世帯等については通信費の一部を援助します。中学生及び小学5・6年生とあわせて、令和5年度は新たに小学3・4年生も持ち帰り学習を開始します。

小・中学校学習環境サポート・読書活動推進事業

19,104 千円 予算書 176、179 ページ (担当 総務学事課)

通常の学級に在籍する発達障害等のある児童・生徒へのサポートのため「学級支援員」を配置し、個に応じたきめ細やかな支援を行います。

学校図書館に読書や学習活動を支援する「読書活動推進員」を配置し、幅広い視野を持った心豊かな児童・生徒を育成します。

中学校教育振興事業(英語力向上事業)

721 千円 予算書 178 ページ (担当 総務学事課)

日本英語検定協会が実施する実用英語技能検定の検定料を、市内の中学校に通う中学3年生を対象に全額助成(年1回)します。中学卒業までに取得する目標の級を定めることで、中学生全体の英語力の向上を目指します。

学校連携・子どもの居場所づくり事業 (放課後児童クラブ運営事業)

67,102 千円 予算書 184~185 ページ (担当 生涯学習課)

放課後や長期休暇中などに、保護者が仕事などで昼間家庭にいない児童に対して、「放課後児童クラブ」において適切な「遊びの場」や「生活の場」を提供することで、児童の健全な育成と保護者の仕事と子育ての両立を支援します。

※ 34 ページの「各施設のご案内」をご覧ください

学校連携・子どもの居場所づくり事業 (放課後子ども教室事業)

3,000 千円 予算書 184 ページ (担当 生涯学習課)

放課後、週末及び長期休暇中における子どもたちの有意義な活動拠点(居場所)を確保するため、地域学校協働本部が核となって地域や各種団体等と連携し、学校や公民館等を活用して様々な体験活動や学習機会の場を児童に提供します。

2 生きがいと創造性を育む生涯学習・社会教育の推進

新規 玖波地域交流施設整備事業

13,109 千円 予算書 182 ページ (担当 生涯学習課)

築50年を迎える玖波公民館をコミュニティサロン玖波等の機能を統合した地域交流施設として新たに整備するため、整備方針等を定める基本構想・基本計画の策定を行います。

※ 33 ページの「令和5年度主要建設事業実施MAP」をご覧ください

栄公民館管理事業 (大ホール床改修事業)

1,600 千円 予算書 190 ページ (担当 生涯学習課)

利用者が安全・安心に利用してもらうため、劣化した栄公民館大ホールの床改修を行います。

3 まちへの愛着と誇りを育む歴史・文化の保存・継承の推進

拡充 文化財保護事業

1,100 千円 予算書 183 ページ (担当 生涯学習課)

市内の史跡等について、より多くの方に関心を持ってもらうとともに本市の歴史を学ぶ機会を提供するため、西国街道大竹路の案内板を新たに設置するとともに、既設の文化財等説明板の損傷状況等の調査を、大竹市歴史研究会と連携して取り組みます。

また、伝統文化を保存・継承する団体への補助事業についても、補助対象を拡大します。

2 産業・雇用

3 暮らしの基盤となる雇用促進と労働者・消費者支援

消費生活相談事業

2,507 千円 予算書 133 ページ (担当 産業振興課)

大竹市消費生活センターにおいて、相談業務や消費生活に関する啓発活動を行い、多様化する消費生活トラブルの未然防止及び消費者被害の救済を図ります。

※ 35 ページの「各施設のご案内」をご覧ください

1 自然の恵みを生かした農林水産業の振興

新規 水産業振興事業

(阿多田かき殻一時堆積場修築事業)



22,000 千円 予算書 131 ページ (担当 産業振興課)

阿多田島(猪子島)に設置しているかき殻一時堆積場のかき殻の流出を防ぐための網の張替等の修築工事を行い、漁業経営の安定を図ります。

2 地域経済の元気と成長を支える商工業の振興

商工振興事業(産業振興奨励事業)



11,520 千円 予算書 134 ページ (担当 産業振興課)

新たな投資を行った市内の商工業者に奨励金を交付することにより、商工業者の投資意欲を高めるなど、市内産業の振興を図ります。

中小企業経営安定支援事業

(地域経済活性化補助事業)



8,500 千円 予算書 134 ページ (担当 産業振興課)

市内中小事業者が、地域特性等を活かした商品の開発・改良や販路拡大等に取り組む事業又は、本市で新たに創業する者に補助金を交付し、本市の魅力の発信と地域経済の活性化を図ります。

3 生活・環境

新規 小方地区まちづくり関連事業



303,817 千円 予算書

(担当 監理課 土木課 都市計画課)

小方地区のまちづくり基本構想を推進するため、次の事業を実施します。

【予算書143号】 港町3号線道路施設 調査業務	8,500 千円	小方地区のまちづくり基本構想に基づく道路の、老朽化している排水施設の調査を行います。
【予算書145号】 小方地区のまちづくり 道路設計等業務	18,000 千円	小方地区のまちづくり基本構想に基づく道路計画及び国道2号交差点新設について検討します。
【予算書149号】 港湾施設の修築・改良 事業	132,917 千円	県が実施する小方港の橋梁架替に伴う工事などの費用の一部を負担します。
【予算書151号】 小方地区のまちづくり 事業	20,000 千円	「小方地区のまちづくり基本構想」の実現に向けて、小方小・中学校跡地の活用検討やJR小方新駅の設置検討に必要な測量などを行い、別途実施する平面計画検討などの内容と併せて、基本構想を推進します。
【予算書155号】 晴海臨海公園整備 事業	124,400 千円	晴海臨海公園では、子どもから大人まで幅広い世代が集える憩いの場所となるよう大型遊具「ロボボファクトリー」や遊具広場の整備、シーサイドゾーンの南北を結ぶ幹線園路や展望施設、デイキャンプが楽しめる海辺の広場を整備しています。 令和5年度は、多目的グラウンドの西側エリアに幹線道路や北側駐車場を整備します。

※ 33 ページの「令和5年度主要建設事業実施MAP」をご覧ください

1 快適で魅力的な都市空間の創造

新規 大竹駅周辺整備事業 (駐輪場等検討業務)



5,000 千円 予算書

152

ページ

(担当 都市計画課)

西口駐輪場等の公共用地の有効活用を図るため、自由通路・橋上駅供用開始後の駐輪場利用状況を確認し、駐輪場等の必要規模や運用方法等を整理するとともに、土地活用の可能性を調査・検討します。

拡充 地籍再調査事業

4,189 千円 予算書

139

ページ

(担当 土木課)

精度の高い地図を作成し、地図混乱地域の解消、土地の有効活用の促進、公共事業の円滑化等を図るため、地籍の再調査を実施します。
令和5年度は、最初の調査地区の現地調査に必要な地図と調査票などを作成します。

大竹駅周辺整備事業



887,661 千円 予算書 152~153 ページ (担当 都市計画課)

JR大竹駅へのアクセスや駅周辺の回遊性の向上を図るため、駅の橋上化、東西地区を結ぶ自由通路の整備、東西広場の改良・整備を一体的に進めています。

令和5年度は旧駅舎・跨線橋等の解体工事を行うとともに、東口交通広場整備工事、西口駅前広場整備工事や隣接する市道の道路拡幅・無電柱化工事を行います。

※ 33 ページの「令和5年度主要建設事業実施MAP」をご覧ください

駅前油見線道路改築事業



7,500 千円 予算書 153 ページ (担当 都市計画課)

大竹駅西側地区において、駅周辺へのアクセスなど住みやすく利便性の高い生活道路網の形成や、災害時の避難路や延焼防止などの防災機能を強化するため、都市計画道路駅前油見線(W=16m L=約150m)を整備します。

令和5年度は、予備設計を行います。

※ 33 ページの「令和5年度主要建設事業実施MAP」をご覧ください

2 きれいで利便性の高い道路環境の創造

橋りょう長寿命化事業

99,000 千円 予算書 142 ページ (担当 土木課)

橋りょう長寿命化修繕計画に基づき、健全度の低い道路橋りょうの予防保全のため、計画的な補修を行います。また、健全性の診断のため、5年に1回定期点検を実施しています。

定期点検	12,000 千円	恵川橋、能保里橋、寿橋など33橋の定期点検を行います。
調査設計	26,000 千円	橋りょうの補修箇所や工法を検討するための調査設計を行います。 ・豊年橋、白石6号線1号橋外9橋
橋りょう補修	61,000 千円	橋りょうの断面のひび割れ等の修復を行います。 ・新町橋 L=18.8m ・川本橋 L=25.2m ・玖波30号線2号橋 L=12.5m ・本流橋 L=4.4m ・北栄南栄1号線1号橋 L=3.6m

道路・橋りょう維持事業

73,000 千円 予算書 143 ページ (担当 土木課)

道路利用者の安全を確保するため、日常的な点検や定期点検で道路や橋りょうの損傷・劣化を発見し必要な対策を行います。

玖波青木線舗装補修	33,000 千円	老朽化した路面の補修を行います。 路面補修 切削オーバーレイ5cm L=700m、A=5,320㎡
港町12号線・晴海2号線舗装補修	40,000 千円	老朽化した路面の補修を行います。 路面補修 切削オーバーレイ5cm L=580m、A=4,640㎡

※ 33 ページの「令和5年度主要建設事業実施MAP」をご覧ください

道路・橋りょう新設、改良事業

21,500 千円 予算書 145 ページ (担当 土木課)

交通の円滑化と安全性の向上のため、市道の改良などを行います。		
岩国大竹道路建設に伴う市道改良	3,000 千円	国土交通省が実施している岩国大竹道路建設事業に伴い、安全対策等に必要な改良を行います。
南栄下白石線交通安全施設整備工事	18,500 千円	通学路緊急合同点検で、対策必要箇所として抽出された歩道の整備を行い、通学児童及び歩行者の安全性の向上を図ります。

※ 33 ページの「令和5年度主要建設事業実施MAP」をご覧ください

県道等整備事業

5,100 千円 予算書 145 ページ (担当 監理課)

県が実施する大竹湯来線及び栗谷河津原線などの道路改良事業の費用の一部を負担します。

岩国大竹道路建設事業

- 千円 (担当 監理課)

引き続き、岩国大竹道路建設に国と協力して取り組みます。 (※国の事業のため、事業費は計上していません)
--

3 生活を支える公共交通の充実

地域公共交通整備事業



111,766 千円 予算書 56~57 ページ (担当 自治振興課)

市民の移動環境を確保・維持するため、こいこいバス、大竹・栗谷線バス、坂上線バス、乗合タクシーの運行経費を負担し、谷和・広原地区タクシーや離島航路の補助を行います。 また、路線沿線の人口の減少や高齢化など地域の人口構造の変化により、求められる交通手段の形が変化しているなかで、必要な人に必要な移動手段を確保し、快適で暮らしやすいまちを構築することを目的とし、地域公共交通計画を策定します。
--

4 まちの産業と物流を支える港湾・漁港の整備

漁港施設維持管理事業



178,300 千円 予算書 132 ページ (担当 土木課)

漁港施設の長寿命化のため、計画的に各施設を補修します。		
玖波漁港補修測量設計業務	4,600 千円	玖波漁港3号防波堤の補修設計を行います。
阿多田漁港施設補修工事	173,700 千円	漁港施設の補修工事を行います。 ・東1号浮棧橋の浮函製作・チェーン補修等 ・猪子西浮棧橋のチェーン補修等 ・猪子東浮棧橋の渡橋支承部の取替え

※ 33 ページの「令和5年度主要建設事業実施MAP」をご覧ください

港湾施設の修築・改良事業

97,500 千円 予算書 149 ページ (担当 監理課)

県が実施する大竹港における御幸地区の護岸工事の費用の一部を負担します。

5 住みよさと安心を生む住宅政策

拡充

住宅改修等補助事業



11,184 千円 予算書 157 ページ (担当 都市計画課)

住宅・空き家等の改修・除却等に要する費用の一部を補助します。

耐震化促進支援事業について、補助対象や補助限度額を令和5年度から拡充します。

○耐震化促進支援事業

補助率：耐震改修・現地建替え 工事費の80% (上限100万円)

非現地建替え・除却工事 工事費の23% (上限83.8万円)

要件：昭和56年5月31日以前に着工された耐震性のない市内の木造住宅 (区域要件等有り)

○木造住宅耐震診断補助事業

補助率：耐震診断費用の2/3 (上限3万円)

要件：市に登録された診断資格者による耐震診断

○建築物土砂災害対策改修補助事業

補助率：対策改修費用の23% (上限75万9千円)

要件：土砂災害特別警戒区域内 (レッドゾーン) の建築物の改修

○ブロック塀等除却事業

補助率：除却に係る補助対象費用の2/3 (上限15万円)

要件：大竹市ブロック塀等除却補助事業実施要綱に定める補助対象ブロックの除去

○住宅リフォーム事業

補助率：補助対象費用の1/10

・住宅リフォーム (上限20万円)

・耐震リフォーム (上限30万円)

・空き家リフォーム (上限30万円)

要件：耐震リフォームは木造住宅耐震改修補助事業の活用
空き家リフォームは市空き家バンク登録物件

○特定空家等除却補助事業

補助率：除却費用の4/5 (上限30万円)

要件：特定空家等に認定された建築物に限る

空家対策事業



481 千円 予算書 156~157 ページ (担当 都市計画課)

「空家等対策の推進に関する特別措置法」に基づき、空き家の削減や適正管理、さらに空き家の活用について、総合的な対策を推進します。

令和5年度は、大竹市空家等対策計画を改訂します。

6 楽しさと憩いを提供する公園・緑地の整備

穂仁原水辺の広場整備事業

16,000 千円 予算書 147 ページ (担当 土木課)

市民活動の広がり場として利用するとともに、伝統文化の保存・継承の場としても活用するため、旧穂仁原小学校跡地に水辺の広場を整備します。令和4年度に交流館を新築しました。

令和5年度は、多目的広場、コウゾ畑及び駐車場等の整備を行い、事業完了します。

※ 33 ページの「令和5年度主要建設事業実施MAP」をご覧ください

7 暮らしを支える上下水道の整備

【公共下水道事業会計】

大竹下水処理場共同処理整備事業 (し尿等受入施設整備)

410,000 千円 公共下水道事業会計予算書 118 ページ (担当 上下水道局)

し尿・浄化槽汚泥を下水道施設に接続するための受入・前処理施設を整備し、隣接する下水処理場に投入・処理するもので、この受入・前処理施設を下水道施設として令和8年度末までに整備します。

令和5年度は、し尿・浄化槽汚泥受入れ施設の建設工事を実施します。

(令和4・5年度建設工事 事業費計：406,000千円)

(令和5・6年度機械・電気工事 事業費計：363,000千円)

※ 33 ページの「令和5年度主要建設事業実施MAP」をご覧ください

【公共下水道事業会計】

大竹下水処理場改築更新事業

52,000 千円 公共下水道事業会計予算書 117 ページ (担当 上下水道局)

下水処理場の老朽化に伴い、機械・電気設備の改築更新を行います。

令和5年度は、下水処理場2系の散気装置(下水に空気を供給し、浄化を促進する設備)等改築更新工事を行います。

(2系：令和4～6年度3ヶ年工事 事業費計：300,000千円)

8 環境にやさしい持続可能なまちづくり

地域不法投棄対策事業

11,536 千円 予算書 106～107 ページ (担当 環境整備課)

地域の快適な生活環境を守るため、自治会連合会、公衆衛生推進協議会、警察署及び庁内関係部署と緊密に連携し、地域住民の協力を得ながら、不法投棄防止の諸施策を積極的に推進します。

不法投棄の防止に向けた広報・啓発活動や監視パトロールの強化、既設監視カメラの効果的な活用に取り組みます。

公衆衛生推進協議会の不法投棄防止に向けた活動を引き続き支援します。

環境衛生推進事業

5,656 千円 予算書 107 ページ (担当 環境整備課)

公衆衛生推進協議会が取り組んでいるごみステーションの維持・管理や環境美化啓発看板の配布、花いっぱい運動などの地域に密着した環境美化活動を支援することで、きれいで快適なまちづくりを推進します。

ごみ減量化・資源化促進事業

6,510 千円 予算書 118 ページ (担当 環境整備課)

不要なものを買わない(リフューズ)、ごみを出さない(リデュース)、ごみを再使用する(リユース)、ごみを資源として再生利用する(リサイクル)の4Rを実践する取組を積極的に推進します。

ごみの減量化に取り組む資源回収団体に対する回収量に応じた報奨金の交付や、生ごみ処理容器購入費の助成により、家庭ごみの減量化に取り組めます。

環境学習事業



2,430 千円 予算書 121 ページ (担当 環境整備課)

市の環境の現状を、多くの市民に理解してもらうため、効果的な環境啓発活動に取り組みます。体験型の環境体験学習や集客効果の高いイベント会場で環境に関する行事等を開催します。また、二酸化炭素の排出量削減に資する行動等地球環境にやさしい行動を促す取組も充実します。

ひろしまの森づくり事業



7,341 千円 予算書 129 ページ (担当 産業振興課)

県土の保全や水源のかん養等、森林の有する公益的な機能を持続的に発揮させるため、平成19年4月から県が導入した「ひろしまの森づくり県民税」を活用して、人工林や里山林の整備、森林の間伐、鳥獣被害を削減・防止するための緩衝地帯整備などのほか、森林機能や木材利用に対する市民の意識の醸成を図ります。

9 生活環境に配慮した墓地・斎場の管理

斎場管理事業

36,788 千円 予算書 108 ページ (担当 環境整備課)

施設の長寿命化のため、「斎場個別施設計画(長寿命化計画)」に基づき、中長期的視点による維持管理・更新を推進します。火葬炉1基及び揚水用ポンプの更新を行います。また、令和5年度から斎場管理事業の一部を民間事業者へ委託します。

※ 33 ページの「令和5年度主要建設事業実施MAP」をご覧ください

4 安全・安心

1 自然災害やさまざまな危機に強いまちづくり

新規 河川・水路改良保全事業 (阿多田中の川河川改修)



30,000 千円 予算書 147 ページ (担当 土木課)

河川暗渠の表面は生活道としても活用されています。老朽化している暗渠部の改修を行い、河川施設の保全及び生活の安全性を向上します。

新規 浸水対策事業 (木野地区・立戸地区)



8,500 千円 予算書 147 ページ (担当 土木課)

大雨時に浸水被害の発生している地区の対策を検討し、浸水被害の軽減を図ります。

※ 33 ページの「令和5年度主要建設事業実施MAP」をご覧ください

新規 防災・保安体制整備事業 (個別避難計画作成事業)



357 千円 予算書 165 ページ (担当 危機管理課)

災害危険区域に居住する要介護者等で、自力で避難することが困難な避難行動要支援者が、安全かつ確実に避難できるよう、一人ひとりに対し、個別避難計画を作成していきます。

河川・水路改良保全事業 (一般河川(水路)浚渫事業)



92,000 千円 予算書 147 ページ (担当 土木課)

河川氾濫等による浸水被害を防ぐため、市内の河川(水路)内に堆積している土砂を撤去します。令和5年度は、入川排水路、元町東栄排水路、油見北栄排水路、恵川、八丁川の浚渫工事を行います。

急傾斜地崩壊対策事業(市)



50,859 千円 予算書 147~148 ページ (担当 土木課)

急傾斜地の崩壊による災害から市民の生命を保護するため、対策工事を行います。令和5年度より、奥谷尻地区の崩壊対策工事を行います。

急傾斜地崩壊対策事業(県)



2,500 千円 予算書 148 ページ (担当 監理課)

県が実施する木野地区などの急傾斜地崩壊対策事業の費用の一部を負担します。

大規模盛土造成地安全対策事業



21,000 千円 予算書 151 ページ (担当 都市計画課)

大地震等が発生した場合に、大きな被害が生ずる恐れがある大規模盛土造成地において、崩落防止工事により耐震化を向上させることを目的として、段階的に調査を実施しています。
令和5年度は、令和3年度に行った現地踏査・優先度調査の結果、優先度の高かった2箇所について、現地でのボーリング調査及び擁壁調査等の第二次スクリーニングを行います。

自主防災組織育成指導事業



889 千円 予算書 166 ページ (担当 危機管理課)

地域防災力の向上のため、県の助成金を活用し「避難の呼びかけ体制づくり」を更に推進し、参加組織の能力向上を目指します。

また、自主防災組織への助成金交付や講師派遣等により、組織の立ち上げや防災訓練等の支援を行うとともに、地域防災リーダー養成研修及びフォローアップ研修による防災知識の習得や技能向上を通じて、地域防災活動の担い手を育成します。

【公共下水道事業会計】

小方ポンプ場機械電気設備改築更新事業



235,770 千円 公共下水道事業会計予算書 117~118 ページ (担当 上下水道局)

小方ポンプ場の雨水ポンプ及び汚水設備の機械・電気設備改築更新工事を行います。
(令和4・5年度2ヶ年工事 事業費計：464,500千円)

2 市民の命を守る消防体制の充実

新規 消防力強化事業
(水槽付消防ポンプ自動車整備事業)



82,306 千円 予算書 160~161 ページ (担当 消防本部)

消防力強化のため、水槽付消防ポンプ自動車(水槽容量を500ℓ増加した3,000ℓ以上)を更新します。
この消防車は消防ポンプ自動車にタンクを積載し、消火栓や防火水槽等を利用しなくても放水できます。

新規 消防団活動推進事業・消防団資機材整備事業
(消防団活動服・積載車整備事業)

15,092 千円 予算書 164 ページ (担当 消防本部)

第7分団第1部(川手地区)の小型動力ポンプ付積載車と第8分団(阿多田地区)の小型動力ポンプ付軽積載車を更新します。また、前年度に引き続き消防団活動服を整備します。

5 健康・福祉

1 生きがいに満ちた高齢者の暮らしの支援

新規 介護施設整備等補助事業



21,600 千円 予算書 81 ページ (担当 地域介護課)

市内の介護・高齢者福祉施設を対象に、新型コロナウイルス感染拡大防止対策として、簡易陰圧装置の設置費用を補助します。

高齢者離島対策事業(介護サービス利用支援事業)

488 千円 予算書 81 ページ (担当 地域介護課)

阿多田地区に居住する高齢者が介護保険サービスを利用しやすくなるよう、サービス利用時のフェリー代を助成します。利用者に付添う介添人も助成の対象としています。

2 子どもと子育てを支える体制の充実

新規 つながりの場づくり緊急支援事業



4,500 千円 予算書 87 ページ (担当 福祉課)

子ども食堂や学習支援等のこどもの居場所づくりに取り組む団体の活動費を補助することにより、こどもの貧困対策に対する支援を行います。

新規 出産・子育て応援事業



18,133 千円 予算書 110 ページ (担当 保健医療課)

妊娠中から出産・子育て期までを安心して過ごすことができるよう「伴走型相談支援」(※)を行い、併せて、経済的支援として、出産・子育て世帯に10万円(妊娠時に5万円、出産時に子ども1人あたり5万円)を給付します。

(※) 伴走型相談支援とは、妊産婦の方々が抱える様々な不安を解消するため、市の保健師等(おおたけ版ネウボラの相談員)が、妊娠届時の「親子(母子)健康手帳交付時の面接」と、産後の「こんにちは赤ちゃん訪問」のほか、妊娠から子育てまで一貫してご家庭に寄り添うものです。

拡充 こども医療費助成事業



64,871 千円 予算書 87 ページ (担当 保健医療課)

こどもの健やかな成長を支えるため、こどもの医療費に係る自己負担の一部を助成します。
令和5年10月1日から対象を拡大し、安心して子育てができる環境づくりを推進します。

(拡充内容)

対象年齢等	～令和5年9月30日	令和5年10月1日～
	0歳児から中学校卒業(満15歳に達する日以後最初の3月31日)まで	0歳児から満18歳に達する日以後最初の3月31日まで

(支援内容)

一部負担金	○保険医療機関ごと 1日500円まで (調剤については負担金無し)
支払日数	○入院：1医療機関 月14日まで ○通院：1医療機関 月4日まで ○柔道整復・あんまマッサージ・はりきゅう：1医療機関 月4日まで

拡充 児童福祉相談事業



11,408 千円 予算書 93 ページ (担当 福祉課)

専門知識を持つ相談員が、保護者等に対し、0歳から18歳未満までの児童の養護・障害・非行・育成などについての相談・助言を行うことにより、児童虐待の防止を図ります。
また、ヤングケアラーに対する支援体制を構築するため、相談員を1名増員し、相談体制の強化を図ります。

※ 34 ページの「各施設のご案内」をご覧ください

子育て短期支援事業



189 千円 予算書 86 ページ (担当 福祉課)

保護者が病気などで一時的に家庭において養育が困難になった児童や、経済的理由などで緊急的に保護を必要とする母子に対して、施設で預かる「ショートステイ」、保護者が仕事などのため夜間や休日に家庭において児童の養育が困難な場合に施設で児童を預かる「トワイライトステイ」を実施します。

未就学児等離島対策事業

162 千円 予算書 87 ページ (担当 福祉課)

阿多田地区に居住する未就学児(未就学児が2人以上いる場合)及び未就学児のいる世帯の保護者を対象としたフェリー一代の助成を行います。

市立保育所等整備事業(大竹・本町統合)

— 千円 予算書

(担当 福祉課)

「大竹市公立保育所等の再編における大竹地区施設整備計画」に基づき、本町保育所を大竹保育所に統合(令和6年4月)するとともに、大竹保育所を改修するための設計業務を令和4年度から行っています。

令和5年度は、令和4年度に引き続き設計業務を行います。

また、保育所に通う乳幼児等の歩行者の安全確保と周辺道路の混雑による事故発生リスクの低減のため、隣接する白石元町1号線の整備を行います。

利用者支援事業(ネウボラ)

18,356 千円 予算書

95
109~110 ページ

(担当 福祉課
保健医療課)

妊娠期から子育て期にわたる切れ目のない支援を行う仕組み(=ネウボラ)を構築し、令和2年度から実施しています。本市のネウボラは、保健医療課に母子保健コーディネーター(保健師など)、子育て支援センター「どんぐりHOUSE」には子育て支援コーディネーター(専門研修を受けた保育士)を配置し、相互に連携しながら相談・支援・関係機関との連絡調整などを行っています。

令和4年度には、市役所本庁舎敷地内に整備した「にじいろこども園」内にどんぐりHOUSEを移転させ、関係機関の連携を強化して取り組んでいます。

病児・病後児保育運営委託事業

12,178 千円 予算書

91 ページ

(担当 福祉課)

保護者の勤務の都合等により、家庭で保育できない生後6ヶ月から小学6年生までの児童で、保育所(園)、認定こども園、小規模保育園、幼稚園、小学校等に通えない病児や病後児を保育します。

※ 35 ページの「各施設のご案内」をご覧ください

3 障害のある人が自分らしく生きるための支援

障害者等自立支援給付事業

595,241 千円 予算書

77 ページ

(担当 福祉課)

すべての障害者や障害児が、できるだけ身近な場所で必要な日常生活や社会生活を営むためのサービス(生活介護、就労継続支援B型、施設入所、グループホーム、補装具等)や自立支援医療の利用を支援します。

子育て支援センター等運営管理事業

24,685 千円 予算書

94~95 ページ

(担当 福祉課)

乳幼児や保護者が相互に交流する場所を、市内3箇所(子育て支援センター「どんぐりHOUSE」、さかえ子育て支援センター、松ヶ原こども館)に開設し、子育てに関する講座の開催、子育て相談、子育て情報の提供、子育てサークルの育成・支援、ネウボラとの連携強化などの子育て支援の充実を図ります。

※ 34、35 ページの「各施設のご案内」をご覧ください

4 見守り支え合う地域福祉の推進

新規 総合福祉センター運営事業
(多目的ホール天井改修事業)

14,000 千円 予算書 84 ページ (担当 地域介護課)

地震時の安全対策のため、多目的ホールの天井の脱落を防止する改修を行います。
令和5年度は、設計業務を行います。

生活困窮者自立支援事業

19,014 千円 予算書 73~74 ページ (担当 福祉課)

さまざまな事情で働きたくても働けない・住むところがないなどの生活困窮者に対して、専門の相談員がどのような支援が必要かを一緒に考え、寄り添いながら、解決に向けた支援を行います。

地域福祉担い手育成事業

17,115 千円 予算書 74~75 ページ (担当 地域介護課)

地域住民の複雑化・複合化したニーズに対応する包括的な支援体制を整備し、対象者の属性を問わない相談支援、多様な参加支援、地域づくりに向けた支援を一体的に行う重層的支援体制整備を行います。誰もが、どのような状況にあっても利用できる相談支援体制を構築し、この体制を軸に地域住民が互いを認め合い、助け合う地域社会(地域共生社会)が創出されることを目指します。

【介護保険特別会計】

地域支援事業

184,559 千円

(担当 地域介護課)

被保険者が要介護・要支援状態となることを予防し、社会に参加しつつ、地域において自立した日常生活を営むことができるよう支援することを目的としています。地域における包括的な相談及び支援体制、多様な主体の参画による日常生活の支援体制、在宅医療と介護の連携体制及び認知症高齢者への支援体制の構築等を一体的に進めます。

介護予防・生活支援サービス事業 【予算書332~333 頁】	89,566 千円	要介護・要支援の状態になることを予防するとともに、要介護の状態になっても、できるだけ住み慣れた地域で自立した日常生活を営むことができるよう支援するためのサービスを提供します。
一般介護予防事業 【予算書333~334 頁】	14,871 千円	いきいき百歳体操を軸に、介護予防を実践する人を増やしていきます。また、地域での活動や自宅での介護予防の実践は、元気で自立した生活につながり、教室に参加することが、閉じこもり防止や友人とのふれあいなど、普段の生活に生きがいを持つような支援となり、介護給付費の削減にもつながります。
包括的支援事業 【予算書334頁】	70,152 千円	平成18年4月からサントピア大竹内に大竹市地域包括支援センターを、平成27年7月からメープルヒル病院内に大竹市認知症対応・玖波地区地域包括支援センターを設置しました。それぞれ主任ケアマネジャー、社会福祉士、保健師などが連携し、総合的に高齢者を支えています。
任意事業 【予算書334~335 頁】	9,970 千円	介護給付費などの適正化に向けた取組を行うほか、認知症について理解を深めるための認知症サポーター養成講座や認知症カフェなどを開催します。 在宅の高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らし続けられるよう、地域包括支援センターが主体となり高齢者の見守りのためのネットワークづくりを進めます。

※ 36 ページの「各施設のご案内」をご覧ください

医療体制支援事業

1,007 千円 予算書 101 ページ (担当 保健医療課)

○救急相談センター運営事業

連携中枢都市圏制度を活用し、広島市が主体となって広島市に設置する「救急相談センター」の事業費の一部を負担します。

市民が急な病気やけがをしたときに、#7119番に電話すると、対応についてのアドバイスを受けることができます。また、緊急度が高いと判断した場合には、119番へ転送し、救急搬送につなげます。

○産科医療施設人材確保支援事業

広島西二次保健医療圏（大竹市・廿日市市）の拠点病院であるJA広島総合病院の分娩を取り扱う医師の確保のため、廿日市市と共同で分娩手当を補助します。

予防接種推進事業

89,376 千円 予算書 101 ページ (担当 保健医療課)

麻疹、風しんやポリオなどの人から人へ感染する恐れのある感染症の発生やまん延を防ぐため、予防接種を実施します。

高齢者インフルエンザワクチン接種事業、成人の風しん抗体検査・予防接種事業、高齢者肺炎球菌ワクチン接種事業、子宮頸がんワクチン接種事業及び新型コロナウイルスワクチン接種事業を継続します。

妊産婦等支援事業

25,215 千円 予算書 110~111 ページ (担当 保健医療課)

○妊産婦歯科健康診査事業

妊産婦自身の口腔内の衛生状況を健康に保つとともに、生まれてきた子どものむし歯のリスクを下げるため、妊娠中、産後の妊産婦の歯科健康診査の受診券を交付します。

口腔衛生の関心を高めて、生涯健康な歯をつくる契機とします。

○妊婦乳幼児健康診査事業

妊婦・乳幼児の健康の保持・増進のため、妊婦健康診査及び乳幼児健康診査の受診券を交付します。

定期的に健康診査を受けることで、異常の早期発見・早期治療につなげるとともに、経過観察や支援が必要な妊産婦や乳幼児への対応を行います。

○妊産婦健康診査等支援事業

妊婦健診受診支援・出産・産後支援として、1回につき2,000円を補助します。また、阿多田在住妊産婦は、船賃助成します。

○不妊治療費助成事業

令和4年4月から、特定不妊治療は保険適用となりましたが、特定不妊治療に併せて行われる先進医療等の治療費（保険適用外）に対して、県が行う助成制度に上乗せして独自に助成します。

妊娠・出産を望む夫婦の希望を叶えるため、経済的・精神的な負担を軽減することで、妊娠・出産しやすい環境づくりに取り組みます。

健康づくり推進事業



137,372 千円

(担当 保健医療課)

生活習慣病やその他の心身の健康に関する事項について、正しい知識の普及啓発により市民の健康意識を高めるとともに、医療機関などと連携して市民の健康の保持・増進を図ります。

【一般会計】 健康増進事業 【予算書102頁】	8,444 千円	市民が健康で自立した生活を維持するため、健康UPファイルの配布、健康教育、健康相談、訪問指導を実施します。 令和5年度は、「健康おたけ21」の評価及び次期計画の策定を行います。
		健康UPファイルの配布 「自分の健康は、自分で守る」意識を醸成するため、健康診査の受診記録などをまとめておけるファイルを配布します。
		健康教育 生活習慣病などの予防のため、健康教室やパンフレット配布などによる啓発を通じて、健康に関する正しい知識を普及します。
		健康相談 病気の発生や重症化の予防のため、健康診査の事後措置として、保健師や栄養士による個別相談を行います。
		訪問指導 健康に関する問題を総合的に把握し、生活改善などの必要な指導を行います。疾病を予防できるよう保健師などが家庭へ訪問し指導します。
【一般会計】 歯科保健事業 (節目歯科健診) 【予算書102～103頁】	5,965 千円	在宅寝たきり高齢者等訪問歯科診療促進事業 訪問歯科健康診査、口腔ケアを行うことで口腔の健康回復を図り、健康な状態を保持します。
		節目歯科健診 歯周病の予防及び早期発見により、高齢期における歯の喪失予防を図り、市民の健康維持及び向上のため、節目年齢(40歳・50歳・60歳・70歳)の方を対象に、500円で受けられる歯科健診を実施します。 国民健康保険被保険者は、自己負担額を無料にします。

【一般会計】 がん検診及び健康診査等事業 【予算書103頁】	49,093 千円	がん検診 がんの早期発見・早期治療を促進するため、満40歳以上の方(子宮頸がんは満20歳以上の女性)を対象にがん検診を実施します。 大腸がん検診は、対象のすべての方の自己負担額を無料にします。 国民健康保険被保険者や後期高齢者医療保険被保険者には、すべてのがん検診の自己負担額を無料にします。
		一般健康診査 生活習慣病の予防や疾病などの早期治療を促進するため、後期高齢者医療保険被保険者などを対象として一般健康診査を実施します。
【国民健康保険特別会計】 特定健康診査等助奨事業 【予算書247頁】	17,948 千円	肝炎ウイルス検診 ウイルス性肝炎の早期治療を促進するため、満40歳以上の方を対象として肝炎ウイルス検診を実施します。(過去の受診者を除く)
		特定健康診査の受診勧奨を強化し、特定保健指導の利用勧奨を実施します。
【国民健康保険特別会計】 糖尿病対策推進事業 【予算書248頁】	15,041 千円	糖尿病は脳卒中や心臓病など命に関わる病気のほか、失明や人工透析など日常生活に重大な支障をもたらす病気を発症させる原因となります。その予防、重症化を防止する施策を大竹市医師会と協議・検討しながら事業を展開することにより、市民の健康を保持し、医療費の増大を抑制します。
【国民健康保険特別会計】 特定健康診査等事業 【予算書251頁】	29,560 千円	40歳～74歳の国民健康保険被保険者に対して、メタボリックシンドローム(内臓脂肪症候群)に着目した健康診査、保健指導を実施し、生活習慣病の予防、改善を図ります。 特定健康診査・保健指導をより受けやすくするため、自己負担額を無料としています。
【一般会計】 【国民健康保険特別会計】 人間ドック及び脳ドック事業 【予算書103～104頁、248頁】	11,321 千円	40歳以上の国民健康保険被保険者及び後期高齢者医療保険被保険者に対して、人間ドック及び脳ドックを実施します。

6 自治・行政運営

1 市民と行政の協働による地域づくり

協働のまちづくり推進事業



1,000 千円 予算書 55 ページ (担当 自治振興課)

市民活動団体が地域の課題解決のため自ら提案・実施する事業に助成し、市民活動の自主性の向上を図ります。また、市民活動団体の活動中の事故を市民活動保険制度で補償します。

地域活動促進事業



19,486 千円 予算書 55~56 ページ (担当 自治振興課)

住みよい地域づくりに向けて取り組む自治会や、地域の連帯を深めて住みよい地域社会の形成に向けて取り組むコミュニティづくり推進協議会等の活動を支援することで地域活動を促進します。

2 将来を見据えた計画的で効率的な行財政運営

拡充 DX推進事業

16,526 千円 予算書 43, 52, 54 ページ (担当 企画財政課)

主なDX関連事業

○「DX Ship (デジシップ) ひろしま」事業
デジタル人材を県・市町共同で活用する枠組みである「DX Ship (デジシップ) ひろしま」に参画して、新たに専門人材を配属することで、情報システム管理やデジタルトランスフォーメーション (DX) 等の推進体制を強化します。

○議事録作成事業

音声記録から自動的に議事録等の文字起こしをするシステムを活用し、事務の能率化を推進します。

○標準化対応業務

住民基本台帳など20業務の現行基幹業務システムを全国共通のシステム (標準準拠システム) へ令和7年度までに移行します。
令和5年度は、現行システムと標準準拠システムの仕様の比較分析等を実施します。

3 公営企業などの健全な経営

土地開発公社経営健全化対策事業

10,565 千円 予算書 139 ページ (担当 監理課)

土地開発公社の財務状況改善のため、利子補給や土地売却に伴う損失補填等のための補助を行います。

令和5年度当初予算における米空母艦載機部隊配備特別交付金事業

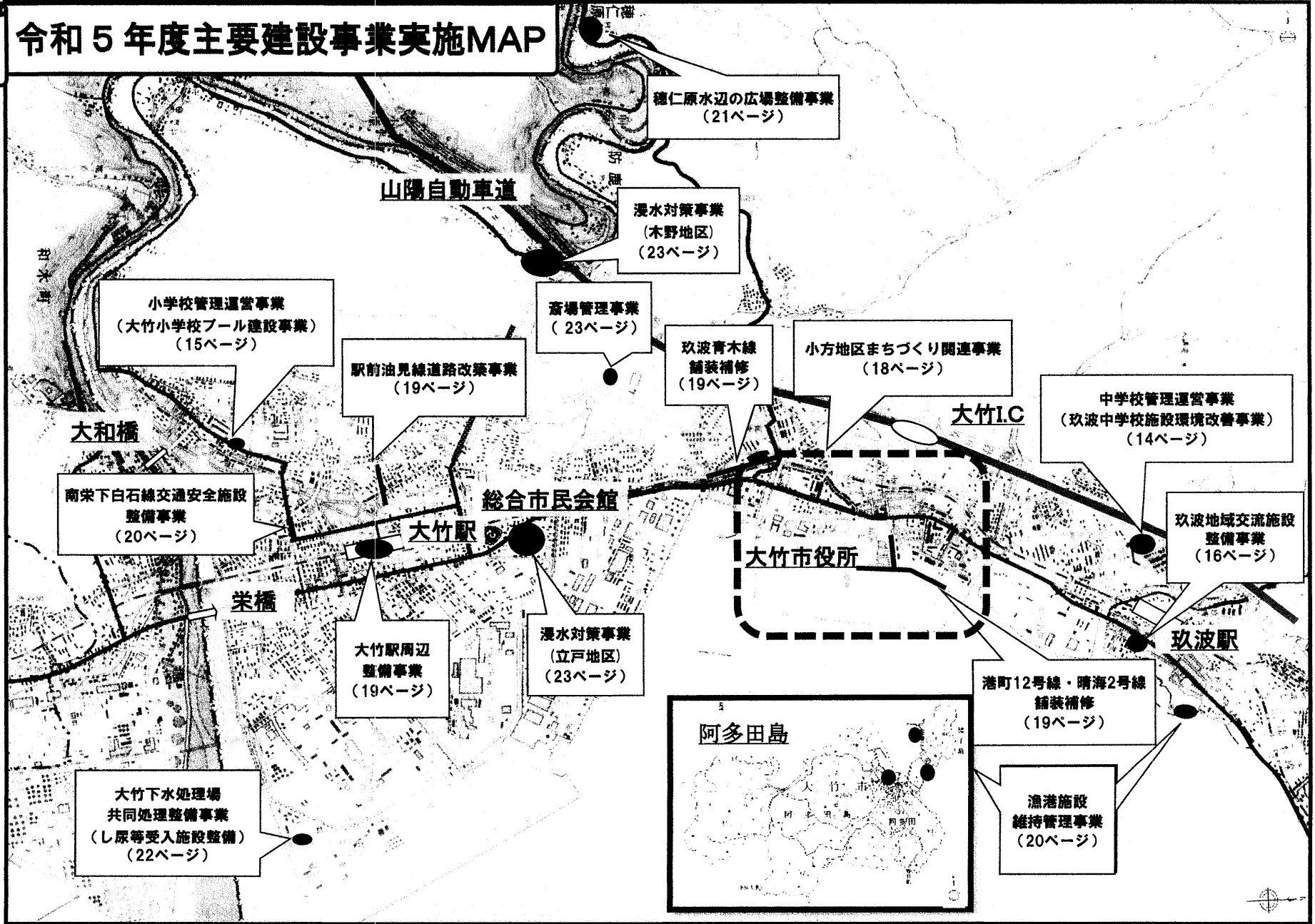
令和4年度から国において再編交付金に代わる新たな交付金制度である米空母艦載機部隊配備特別交付金が創設されました。大竹市には令和18年度までの15年間、交付される予定です。

(米空母艦載機部隊配備特別交付金予算額) 390,218千円

令和5年度は、米空母艦載機部隊配備特別交付金を活用して次の事業を実施します。

(単位:千円)

事業		交付金充当額	主 な 内 容
晴海臨海公園整備事業		108,000	晴海臨海公園では、これまでに球技場やテニスコート、管理棟等のスポーツゾーンの整備、大型遊具「ロボボファクトリー」等のファミリーゾーンの整備、展望施設やデイキャンプ施設等のシーサイドゾーン、公園外周の西側及び北側の園路や水路の整備を行ってきました。令和5年度は、多目的グラウンドの西側エリアの幹線道路や北側駐車場の整備を行います。
基金積立	にこにこ子ども基金事業	50,690	平成21年度に再編交付金を活用して、「にこにこ子ども基金」を造成し、子ども医療費助成事業などの子育て支援事業を実施しています。 令和5年度は、学校給食費支援事業を継続していくため、基金に積み立てます。
	教育環境充実基金事業	231,528	大竹小学校の児童と大竹中学校の生徒が共同で使用できる新たなプールを大竹小学校に整備しています。この事業費に充当するため、基金に積み立てます。
合 計		390,218	



各施設のご案内

放課後児童クラブ

16ページ

- ・あすなろ児童クラブ（玖波七丁目1-1（玖波小学校内））
- ・みどり児童クラブ（小方ヶ丘1-2（小方学園内））
- ・ひかり児童クラブ（白石二丁目1-2（大竹小学校内））

【対象】 市内の小学生であって、保護者が仕事等の理由により昼間家庭にいない児童、及びこれに準ずる児童

【利用時間】 ≪平日≫ 下校時～18時30分 ≪土曜日≫ 8時～18時
≪土曜日を除く長期休暇（春・夏・冬休み）・学校行事等の代休日≫ 8時～18時30分

【電話】 28-5680（生涯学習課社会教育係）

大竹市こども相談室

15ページ

≪相談業務≫ いじめ、不登校などの教育に関する相談、子どもの性格上の問題、非行、児童への虐待などの子どもについての様々な相談に応じます。

≪適応指導≫ 学校と家庭の中間的な役割を担い、児童・生徒の学習する場の提供や、自立に向けたきめ細やかな支援を行います。

【場所】 大竹市立戸一丁目8-5（総合市民会館・山側）

【利用時間】 月～金曜日（祝日を除く）の8時30分～15時

【電話】 54-0021（こども相談室）

大竹市家庭児童相談室

26ページ

≪相談業務≫ 家庭で養育困難な児童の養護、障害、非行、育成に関する、0歳から18歳未満までの子どもについての様々な相談に応じます。

【場所】 大竹市小方一丁目11-1（大竹市役所内）

【利用時間】 月～金曜日の9時～16時

【電話】 59-2151（家庭児童相談室）
59-2148（福祉課児童係）

子育て支援センター「どんぐりHOUSE」

27ページ

【対象】 市内在住の小学校就学前の子どもと保護者、子育てボランティアの方

【場所】 大竹市小方一丁目11-1

【利用時間】 月～金曜日 9時30分～12時／13時30分～16時30分

【電話】 59-3500（子育て支援センター）
59-2148（福祉課児童係）

各施設のご案内

さかえ子育て支援センター

27ページ

- 【対象】 市内在住の小学校就学前の子どもと保護者、子育てボランティアの方
- 【場所】 大竹市西栄三丁目12-25(さかえ保育所敷地内)
- 【利用時間】 月～金曜日 9時30分～12時/13時30分～16時30分
- 【電話】 53-9766(さかえ子育て支援センター) 59-2148(福祉課児童係)

松ヶ原こども館

27ページ

- 【対象】 乳幼児・小中学生と保護者、子育てボランティアの方
- 【場所】 大竹市松ヶ原町445-2
- 【利用時間】 月・火・水・金・土曜日 10時～16時(※臨時休館日有り(月1～2日程度))
- 【電話】 57-8333(松ヶ原こども館) 59-2148(福祉課児童係)
- 【ホームページアドレス】 <http://honobonon.client.jp/>(NPO法人子育てハッピーネットほのぼのん)

病児・病後児保育室「にっしーくんハウス」

27ページ

- 【対象】 生後6ヶ月から小学校6年生までの保育所、幼稚園及び小学校に在籍している病気または病気の回復期にある児童
※ 事前登録が必要です。
- 【場所】 大竹市玖波四丁目1番1号(独立行政法人国立病院機構広島西医療センター内)
- 【利用料金】 ○市内在住の方 1,000円 ○市外在住の方 2,000円
(大竹市民のみ生活保護世帯、市民税非課税世帯には利用料免除の制度があります。)
- 【利用時間】 月～金曜日(祝日、年末年始(12/29～1/3)を除く) 8時15分～18時00分
- 【電話】 57-7183(にっしーくんハウス) 59-2148(福祉課児童係)

大竹市消費生活センター

17ページ

- 《相談業務》 訪問・通信・電話勧誘販売等による売買・契約に関するトラブル、はがき、携帯電話、インターネットを使った不当・架空請求、その他消費生活全般、クーリングオフについての相談など
- 【場所】 大竹市小方一丁目11-1(大竹市役所内)
- 【受付時間】 火・金曜日 9時～12時, 13時～16時
- 【電話】 57-3236(消費生活センター)

各施設のご案内

大竹市地域包括支援センター

28ページ

- 《事業内容》
- 要支援1・2と認定された方の介護予防プランの作成や基本チェックリストで生活機能の低下がみられた方の介護予防ケアマネジメント
 - 高齢者や家族に対する総合的な相談・支援事業(介護保険外のサービスを含む)
 - 高齢者に対する虐待の早期発見・防止、成年後見制度の活用などの高齢者の権利擁護事業
 - 関係機関や地域における連絡・協力体制の構築と支援困難事案のケアマネジャーへの支援

【場所】 大竹市西栄二丁目4-1(総合福祉センター(サントピア大竹)内)

【利用時間】 月～金曜日(祝日を除く)の8時30分～17時15分 【電話】 53-1165

広島県西部認知症疾患医療・大竹市認知症対応・玖波地区地域包括支援・合併型センター

28ページ

- 《事業内容》
- 玖波地区にお住まいの方の介護保険に関することや高齢者に関するさまざまな相談の受付、対応
 - 認知症に関する総合的な相談受付、対応
 - 認知症に関する総合的・専門的な診断、治療
 - 認知症初期集中支援チームによる認知症の方(認知症の疑いのある方を含む)及びその家族の初期段階における包括的・集中的な支援

【場所】 大竹市玖波五丁目2-1(メープルヒル病院内)

【利用時間】 月～土曜日(祝日を除く)の8時30分～17時30分 【電話】 57-7461

◇問い合わせ先一覧◇

総務部	
総務課	総務係 59-2120
	職員秘書係 59-2122 soumu@city.otake.hiroshima.jp
危機管理課	保安防災係 59-2119 kikikanri@city.otake.hiroshima.jp
企画財政課	企画係 59-2125
	財政係 59-2121
	情報政策係 28-0074
	広報広聴係 59-2124 kikaku@city.otake.hiroshima.jp
産業振興課	農林水産振興係 59-2130
	商工振興係 59-2131 sangyo@city.otake.hiroshima.jp

市民生活部	
自治振興課	自治振興係 59-2142
	人権推進係 59-2145 jichishinko@city.otake.hiroshima.jp
市民税務課	収税係 59-2127
	市民税係 59-2128
	固定資産税係 59-2129
	戸籍住民係 59-2143 shiminzeimu@city.otake.hiroshima.jp
環境整備課	環境整備係 59-2154 kankyo@city.otake.hiroshima.jp
	リサイクルセンター 52-5101
	kankyo-rc@city.otake.hiroshima.jp

健康福祉部	
福祉事務所	福祉総務係 59-2152
	介護高齢者係 59-2144
	地域支援係 28-6226 chiikaigo@city.otake.hiroshima.jp
	福祉課
障害福祉係 59-2146	児童係 59-2148
	保護係 59-2147 fukushi@city.otake.hiroshima.jp
	保健医療課
国保年金係 59-2141	保健予防係 59-2140
	健康増進係 59-2153 hokeniryo@city.otake.hiroshima.jp

建設部	
監理課	庶務係 59-2160
	用地係 59-2161 kanri@city.otake.hiroshima.jp
土木課	管理係 59-2163
	維持係 59-2164
	工務係 59-2165 doboku@city.otake.hiroshima.jp
都市計画課	計画整備係 59-2167
	建築住宅係 59-2168 toshikei@city.otake.hiroshima.jp

教育委員会事務局	
総務学事課	教育総務係 59-2184
	教育指導係 59-2185
	こども相談室 54-0021
	給食センター 57-7626 sougaku@city.otake.hiroshima.jp

生涯学習課	社会教育係 53-5800
	28-5680
	施設スポーツ係 53-6677 seigaku@city.otake.hiroshima.jp

消防本部	53-7708 honbu@city.otake.hiroshima.jp
------	--

選挙管理委員会事務局	59-2188 senkyo@city.otake.hiroshima.jp
------------	---

監査事務局	59-2189 kansa@city.otake.hiroshima.jp
-------	--

農業委員会事務局	59-2190 sangyo@city.otake.hiroshima.jp
----------	---

上下水道局	業務課	総務係 59-2193
	営業係 59-2191	
	工務課	上水道係 59-2192
	下水道係 59-2194 jougusui@city.otake.hiroshima.jp	

議会事務局	議事係 59-2183
	庶務係 gikai@city.otake.hiroshima.jp

会計課	59-2182 kaikai@city.otake.hiroshima.jp
-----	---

【代表電話】 59-2111
【FAX】 57-7130(本庁)
【Eメールアドレス(代表)】 info@city.otake.hiroshima.jp
【ホームページアドレス】 https://www.city.otake.hiroshima.jp